DiMAGE X21

J 使用説明書

目次

撮影メニュー 37

フラッシュモードや画像サイズなど、メニューで様々な設定を変更することができます。必要に応じてお読みください。

動画撮影モード 65

動画の撮影方法ついて詳しく説明しています。動画撮影の前に一通りお読みください。

次ページへ続く

再生時のいろいろな機能について説明しています。必要に応じてお読みください。

液晶モニターの明るさやメニュー表示言語、操作音・シャッター音などカメラの細かな設定を変更できます。必要に応じてお読みください。

パソコンへの接続 109

このカメラで撮影した画像をお持ちのパソコンに取り込む方法や、カメラを画像入力装置として使用する方法（PCカメラ）について説明しています。

その他 131

一般的な注意事項や、トラブル時の処置等を記載しています。

正しく安全にお使いいただくために

お買い上げありがとうございます。
ここに示した注意事項は、正しく安全に製品をお使いいただくために、またあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。よく理解して正しく安全にお使いください。

 警告 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が予想される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は発火注意）

警告

電池の取り扱いを誤ると、液漏れによる周囲の汚損や、発熱や破裂による火災やケガの原因となりますので、次のことは必ずお守りください。

- **指定された電池以外は使わないでください。**
- **電池の極性（＋／－）を逆に入れないでください。**

- **表面の被膜が破れたり、はがれたりした電池は使用しないでください。**
- **電池のショート、分解、加熱、および火中・水中への投入は避けてください。また金属類と一緒に保管しないでください。**

- **新しい電池と古い電池、メーカーや種類の異なる電池、充電状態の異なる電池を混ぜて使用しないでください。**

- **アルカリ電池は充電しないでください。**
- **充電式電池を充電する場合は、専用の充電器をご使用ください。**

- **万一電池が液漏れし、液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で洗った後、直ちに医師にご相談ください。液が手や衣服に付着した場合は、水でよく洗い流してください。また、液漏れの起こった製品の使用は中止してください。**

⚠警告

ＡＣアダプターをご使用になる場合は、専用品を表示された電源電圧で正しくお使いください。
表示以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁してください。
他の金属と接触すると発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄するか、リサイクルしてください。

ご自分で分解、修理、改造をしないでください。
内部には高圧部分があり、触れると感電の原因となります。修理や分解が必要な場合は、弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店にご依頼ください。

落下や損傷により内部、特にフラッシュ部が露出した場合は、内部に触れないように電池を抜き（ＡＣアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。
フラッシュ部には高電圧が加わっていますので、感電の原因となります。またその他の部分も使用を続けると、感電、火傷、火災の原因となります。弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

幼児の口に入るような電池や小さな付属品は、幼児の手の届かないところに保管してください。
幼児が飲み込む原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

製品および付属品を、幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児・子供の近くでご使用になる場合は、細心の注意をはらってください。ケガや事故の原因となります。

フラッシュを人の目の近くで発光させないでください。
目の近くでフラッシュを発光させると視力障害を起こす原因となります。

車などの運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。
交通事故の原因となります。

次ページへ続く

警告

自動車などの運転中や歩行中に撮影したり、液晶モニターを見たりしないでください。

転倒や交通事故の原因となります。

風呂場など湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で操作したりしないでください。内部に水が入った場合はすみやかに電池を抜き（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。

使用を続けると、火災や感電の原因となります。裏表紙記載の弊社フォトサポートセンターにご相談ください。

引火性の高いガスの充満している中や、ガソリン、ベンジン、シンナーの近くで本製品を使用しないでください。また、お手入れの際にアルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

ACアダプターをご使用の場合、電源コードに重いものを乗せたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、傷つけたり、加熱、破損および加工したりしないでください。またコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

コードが傷むと火災や感電の原因となります。コードが傷んだら、弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店に交換をご依頼ください。

万一使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。電池も高温になっていることがありますので、火傷には十分注意してください。

使用を続けると感電、火傷、火災の原因となります。弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 注意

車のトランクやダッシュボードなど、高温や多湿になるところでの使用や保管は避けてください。

外装が変形したり、電池の液漏れ、発熱、破裂による火災、火傷、ケガの原因となります。

長時間使用される場合は、皮膚を触れたままにしないでください。

本体の温度が高くなり、低温やけどの原因となることがあります。

長時間の使用後は、すぐに電池やカードを取り出さないでください。

電池やカードが熱くなっているため火傷の原因となります。電源を切って温度が下がるまでしばらくお待ちください。

発光部に皮膚や物を密着させた状態で、フラッシュを発光させないでください。

発光時に発光部が熱くなり、火傷の原因となります。

液晶モニターを強く押したり、衝撃を与えたりしないでください。

液晶モニターが割れるとケガの原因となり、中の液体に触れると炎症の原因となります。中の液体に触れてしまった場合は、水でよく洗い流してください。万一目に入った場合は、洗い流した後医師にご相談ください。

次ページへ続く

注意

ACアダプター使用時は、電源プラグは差し込みの奥までしっかりと差し込んでください。

電源プラグが傷ついていたり、差し込みがゆるい場合は使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ACアダプターを布や布団で覆ったり、周りに物を置いたりしないでください。

熱により変形して感電や火災の原因となったり、非常時にアダプターが抜けなくなったりします。

お手入れの際や長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

火災や感電の原因となります。

KONICA MINOLTAは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。DiMAGEはコニカミノルタフォトイメージング株式会社の登録商標です。

WindowsおよびMicrosoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Apple, Macintosh、Mac OS, QuickTimeは、Apple Computer, Inc, の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
Adobe およびPhotoshop Albumは、Adobe Systems Incorporatedの登録商標です。
その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

はじめに

お買い上げありがとうございます。

ディマージュX21は、軽量・コンパクトなボディに光学3倍ズーム機能を搭載したデジタルカメラです。屈曲光学系の採用により超薄型ボディを達成、メインスイッチを入れるとすぐに撮影ができる快適さに加え、動画の記録も可能です。

ご使用前に、この使用説明書をよくお読みいただき、末永くこの製品をご愛用ください。

内容物の確認

お買い上げのパッケージに梱包されているのは以下の通りです。ご確認の上、不備な点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- □ カメラ本体（コニカミノルタDiMAGE X21）
- □ ハンドストラップ HS-DG120 (P.16)
- □ 単3形アルカリ乾電池 2本(P.17)
- □ SDメモリーカード(P.20)
- □ USBケーブル USB-500 (P.112)
- □ DiMAGEビューアー CD-ROM(P.110〜)
- ☑ 本使用説明書
- □ DiMAGE Viewer使用説明書（ディマージュビューアー）
- □ アフターサービスのご案内
- □ 保証書
- □ コニカミノルタからのお知らせ

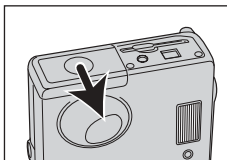
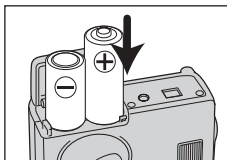
ユーザー登録について

本製品をご使用になる前に、お早めにユーザー登録をお済ませください。同梱されている「コニカミノルタからのお知らせ」に記載の弊社ホームページからオンライン登録を行っていただけます。

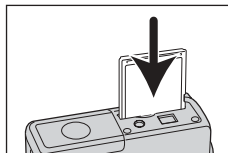
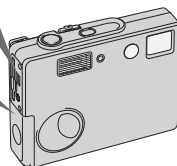
早分かり　詳しくは本文をご覧ください。

準備をする

1　電池を入れます。

→P.17

電池室ふたを矢印の方向にスライドさせます。

電池室内の＋／ー表示にしたがって、電池を入れます。

2　カードを入れます。

→P.20

カチッと音がするまで、カードを押し込みます。

撮影する　P.25

1　メインスイッチを押して電源を入れます。 ON/OFF

2　撮影モード切り替えレバーを合わせます。

撮影

動画撮影

3　十字コントローラーを上下に倒して撮りたいものの大きさを決めます。

望遠

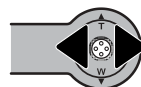
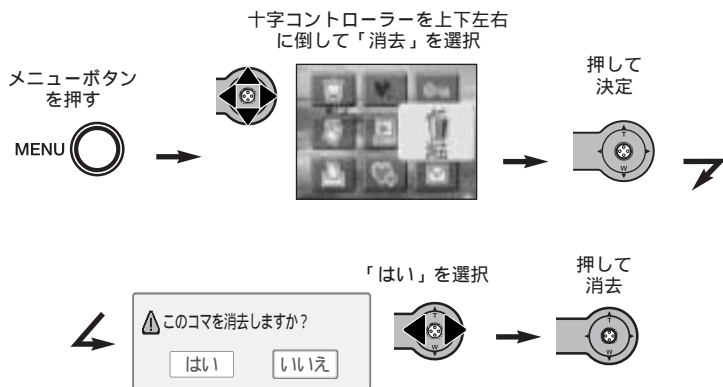
広角

4　シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。

半押し

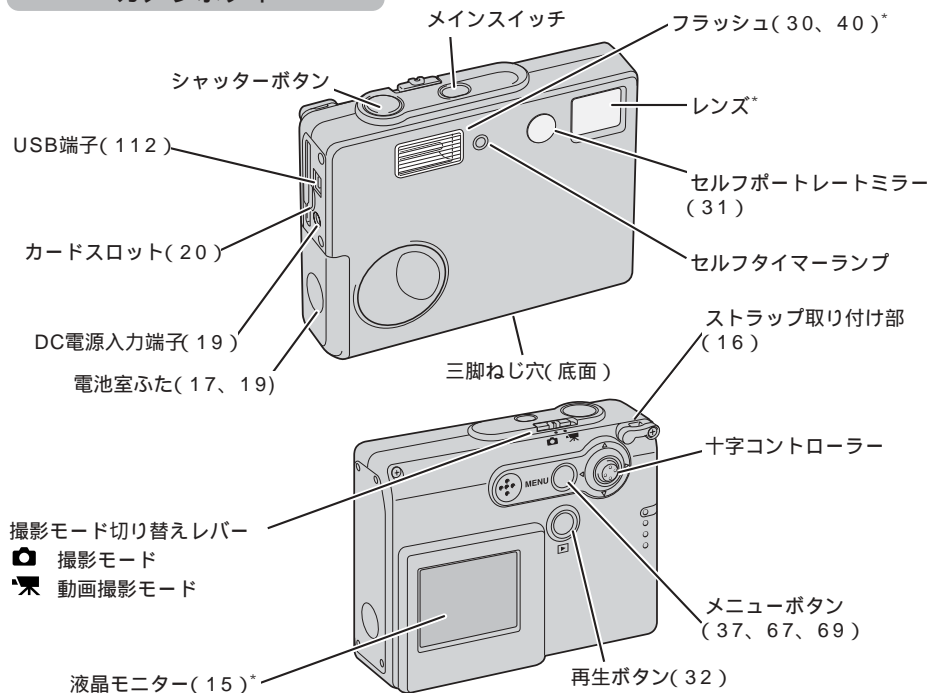
5　シャッターボタンを押し込んで撮影します。

動画撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを押します。

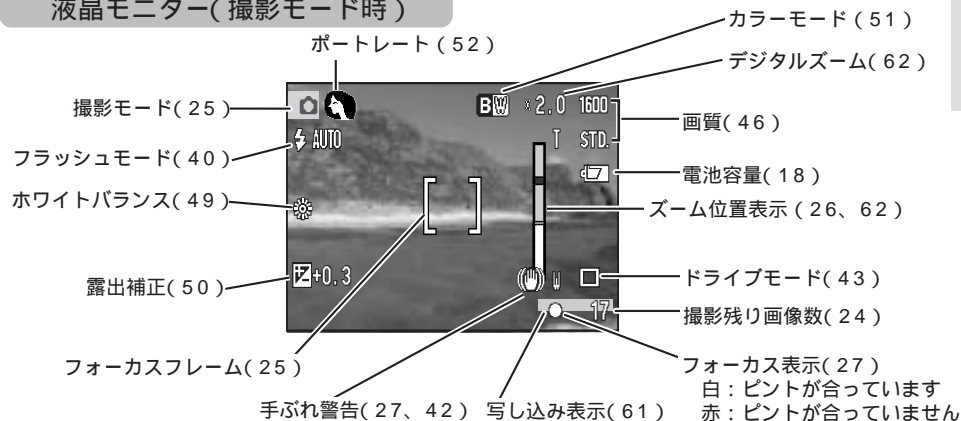
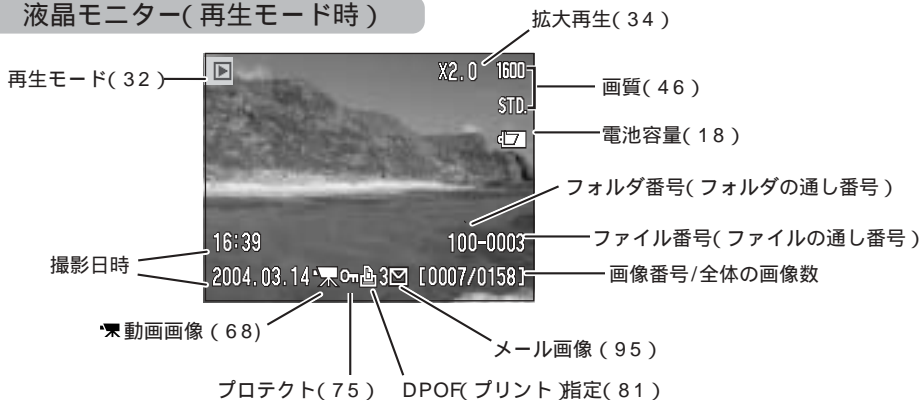
再生する　P.32
1
再生ボタンを押します。
●撮影された最新の画像が表示されます。
1600
STD.
16:39
100-0008
2004.03.12
[0007/0153]
MENU
2
十字コントローラーで見たい画像を選びます。
T
W

そのまま画像を消去するには・・・
メニューボタンを押す
MENU
十字コントローラーを上下左右に倒して「消去」を選択
押して決定
T
W
このコマを消去しますか？
はい
いいえ
「はい」を選択
押して消去
まとめて画像を消去するには→P.73

各部の名称

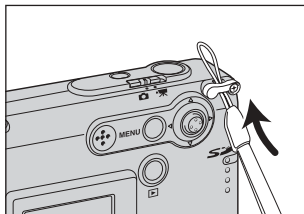
*の付いたところは、直接手で触れないでください。（　）内は参照ページです。

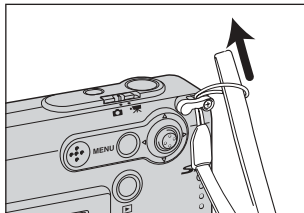
カメラボディ

フラッシュ/アクセスランプ
　ｵﾚﾝｼﾞ色すばやく点滅　：フラッシュ充電中（P.30）。
　赤色すばやく点滅　　：電池容量がないか（P.18）、カードに記録中または読み出し中です。カードを取り出さないでください。

各部の名称（説明のためすべての表示を点灯させています。）

液晶モニター（撮影モード時）

液晶モニター（再生モード時）

基本撮影

この章では、カメラの準備および最も基本的な撮影方法・再生方法を説明しています。

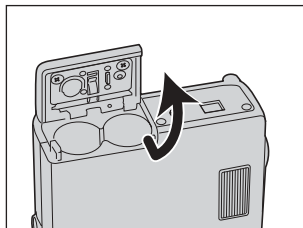
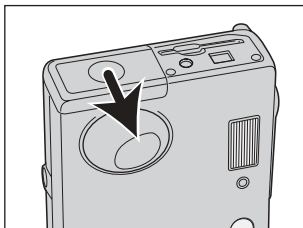
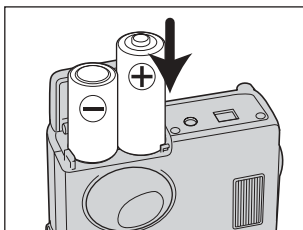
ストラップの取り付け方

1. ストラップ取り付け部に、ストラップの短い方を通します。

- 先端を細くして通してください。
- 取り付け部に対して垂直に押し込むようにすると通りやすくなります。通らない場合は、先の細い物で先端を引っ張り出してください。

2. 通したストラップの輪に、もう一方の端を通して引っ張ります。

電池を入れる

電池を入れる

単3形アルカリ乾電池2本、または単3形ニッケル水素（Ni-MH）電池2本を使用します。このカメラには、単3形アルカリ乾電池が同梱されています。より長い時間の撮影には、単3形ニッケル水素（Ni-MH）電池の使用をおすすめします。ニッケル水素電池は必ず指定の充電器でフル充電してからお使いください。電池の性能は銘柄によって差があります。

● これら以外の電池は使用できません。

1. 電池室ふたを矢印の方向にスライドさせて開けます。

2. 電池室内の＋／－表示にしたがって電池を入れます。

3. 電池室ふたを閉じ、カメラ背面の方向にカチッと音がするまでスライドさせて元通りに閉めます。

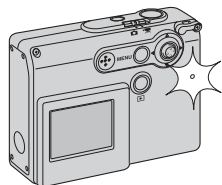
● 最後まで確実に閉めてください。

日付/時刻を設定してください

はい　いいえ

● 電池を入れ、はじめてカメラの電源を入ると、液晶モニターに、「日付け/時刻を設定してください。」というメッセージが現れますので、日時を設定してください（→P.22）。また、電池を長時間取り出したままにしていると、日時の設定が失われることがあります。その場合も日時を再設定してください。

電池容量の確認

メインスイッチを押して電源を入れたり、撮影・動画撮影・再生モードを切り替えたりすると、電池の容量が液晶モニターに表示されます。

 電池容量は十分です。（4秒間のみ表示）

 電池容量が少なくなりました。（4秒間のみ表示）電池の充電・交換をおすすめします。

 （赤色になった場合）できるだけ早く電池の充電・交換をしてください。
この状態でも動画以外の撮影はできます。これより電池容量が少なくなると節電のためフラッシュ充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュ／アクセスランプが3秒間すばやく点滅（左図）、または「電池がなくなりました」というメッセージが現れると、シャッターは切れません。

● 新しい電池を入れても何も表示されないときは、電池の向き（＋／－）を確認してください。
● 長時間の撮影、再生、パソコンとの接続時には、別売りのACアダプター AC-12の使用をおすすめします。

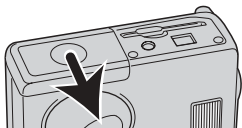
オートパワーオフ（操作しないでいると自動的に電源が切れます）

一定時間何も操作をしないでいると、節電のため自動的にカメラの電源が切れます（オートパワーオフ）。撮影を再開する場合は、もう一度メインスイッチを押して電源を入れてください。
● オートパワーオフまでの時間（初期設定は3分）を変更することもできます。→ P.106

電池を取り出す

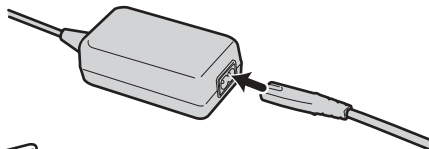
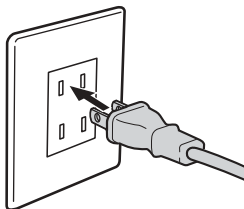
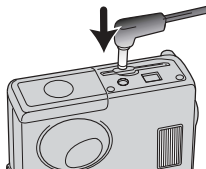
電池を取り出すときには、電源が入っていない（＝カメラがOFFになっている）のを確認してから取り出してください。

電池室ふたを開け、電池を取り出します。

● ふたの開け方は → P.17

ACアダプター（別売り）

屋内などAC電源が使える場合は、別売りのACアダプター AC-12を使用すると、電池の残りを気にすることなく撮影ができて便利です。

接続のしかた

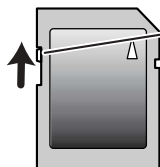
1. ACアダプター本体に電源コードを図のように差し込みます。

2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

3. カメラの電源が入っていないのを確認してから、DC電源入力端子にACアダプターの出力プラグを差し込みます。

取り外し方

1. カメラのメインスイッチを押して電源を切った後、出力プラグをカメラのDC電源入力端子から取り外します。

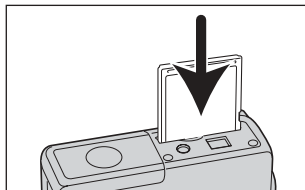
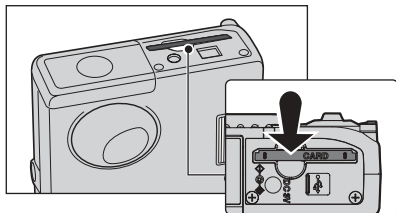
2. ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜きます。

カードを入れる/取り出す

入れ方

画像を記録するには、SDメモリーカードまたはマルチメディアカード（以下、カード）が必要です。付属のSDメモリーカードは、そのままこのカメラに入れてお使いになれます。

ライトプロテクトスイッチ

● SDメモリーカードには、ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。このスイッチを下にスライドさせると、カードへのデータ書き込みが禁止され、カード内の画像等を保護することができます。書き込みする際には、スイッチを上に上げてください。

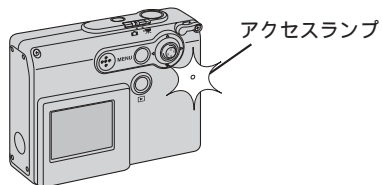
カードを入れるときには、電源が入っていない（＝カメラがOFFになっている）のを確認してから入れてください。

1. カードのラベルをカメラの前面側、接点を背面側に向け、ラベル上の▼マークを挿入口に向けて差し込みます。

2. カチッと音がするまで、矢印の部分を押し込みます。

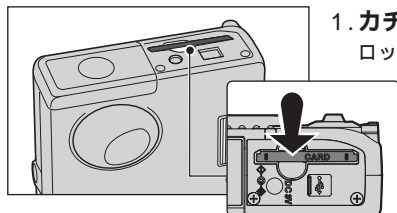
● まっすぐに押し込みます。端を押し込まないでください。
● カードが奥まで入らない場合は、無理に押し込まずに、カードの向きを確かめて正しく入れ直してください。
● 奥まで入ると、カードはロックされます。

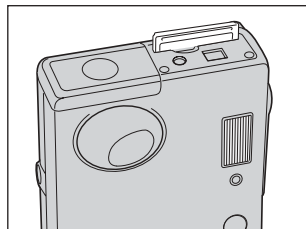
注意

撮影中にカードを不用意に押し込み、意図せずに取り出さないように注意してください。

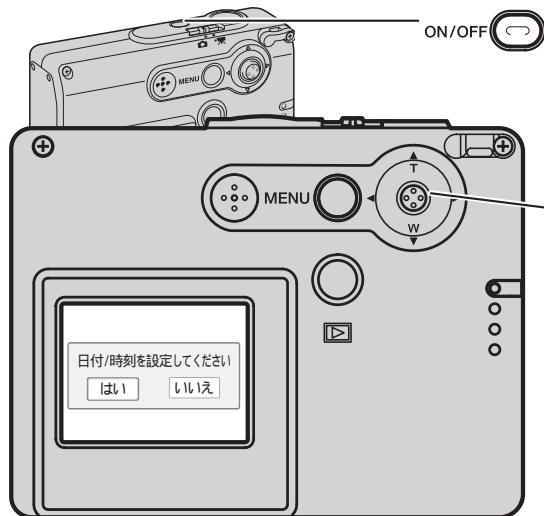
● カードが入ってないときは、「カードが入っていません」というメッセージが現れます。また、撮影モードでは撮影残り画像数が、動画撮影モードでは時間表示が、赤色の ーーー ー になります。
● マルチメディアカードを使用した場合、SDメモリーカードと比べて撮影・再生時の動作応答時間がかなり長くなります。

取り出し方

注意

赤色のアクセスランプが点滅している間は、カードを取り出さないでください。カード内のデータが破損する原因となります。

1.カチッと音がするまで矢印の部分を中に押し込みます。

● ロックが外れ、カードが出てきます。

2.カードを取り出します。

日時を設定する

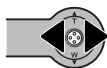
カメラをご購入後初めて使用されるときや、電池を長時間取り出したままにしたときなど、日時の設定が失われることがあります。、「日付/時刻を設定してください」というメッセージが現れたら、日時の設定を行なってください。 ※日時の変更をするには→P.107.

ON/OFF

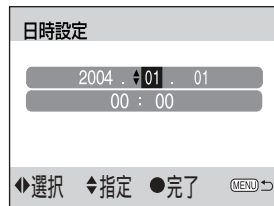
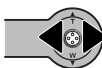
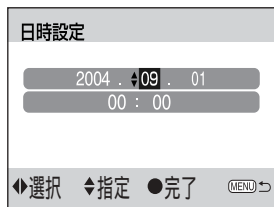
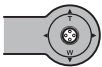
1. メインスイッチを押して電源を入れます。

MENU

2.「はい」を選択している状態で十字コントローラー（以下コントローラー）を押します。

● 日時修正画面になります。

日時設定
2004 . 01 . 01
00 : 00
選択 指定 ●完了 MENU

3. コントローラーを左右に倒して修正したい項目を選びます。

● コントローラーを倒したまま保持すると、数値が早送りされます。

4. コントローラーを上下に倒して希望の数値を選びます。

5. 必要なだけ3、4の操作を繰り返します。

6. 修正が終了したら、コントローラーを押します。

● 日付設定が完了し、時計がスタートします。

● 途中でメニューボタンを押すと、日時設定が行なわずに元の画面に戻ります。

撮影の準備

撮影残り画像数

カードを入れて、カメラの電源を入れると、液晶モニター右下に撮影残り画像数（現在の設定で撮影を続けると、後何枚撮影できるか）が表示されます。

1枚のカードに記録できる画像数は、カードの容量、カメラで設定された画質によって異なります。付属のカード（8MB）で初期設定（画質1600×1200スタンダード）で撮影する場合、記録できる画像数は約11枚です。

● 異なる容量のカードを使用した場合や、画質を変更した場合、また動画撮影を行なった場合は、撮影できる画像数は大きく変わります。※詳細は → P.48

●「0000」が赤字で表示され、「カードに空きがありません」というメッセージが出たときは、カードがいっぱいです。画質を変更する、カード内の画像を消去する、カードを交換する、のいずれかを行なってください。

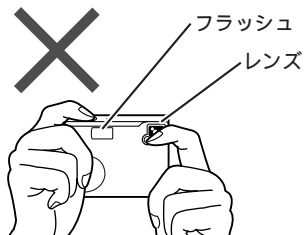
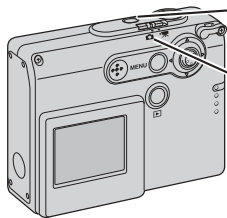
画質の変更 → P.46
画像の消去 → P.33、73

● ファイルサイズは被写体によって異なるため、撮影シーンによっては、撮影後に撮影残り画像数表示が変化しない場合もあります。

カメラの構え方

手ぶれが起こらないよう、脇を締め、両手でしっかりとカメラを構えて撮影してください。

- レンズやフラッシュなど、カメラの前面に指や髪、ストラップがかからないようにしてください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュをレンズより上にしてください。

レンズやフラッシュに指をかけないように！
失敗の原因となるので注意してください。

撮影する

1. メインスイッチを押して電源を入れます。

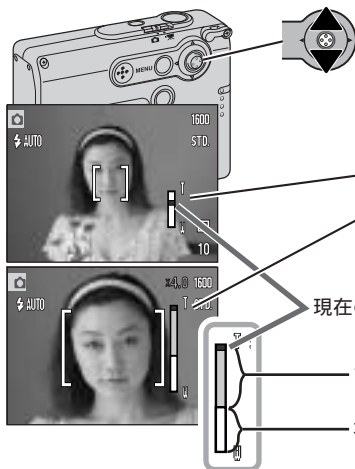
- 電池の状態によっては、起動時間が若干長くなる場合があります。

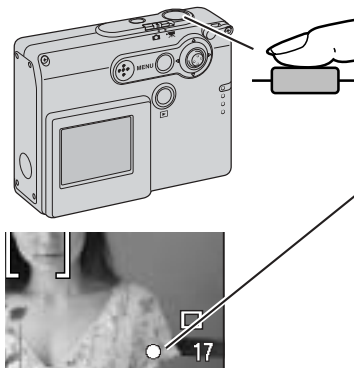
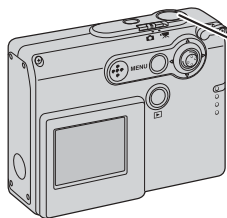
2. 撮影モード切り替えレバーを📷に合わせます。

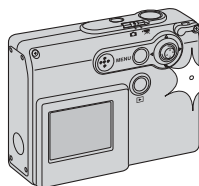
- 撮影モードになります。

次ページへ続く

3.液晶モニターで構図を決め、コントローラーを上下に倒し、ズームして大きさを決めます。

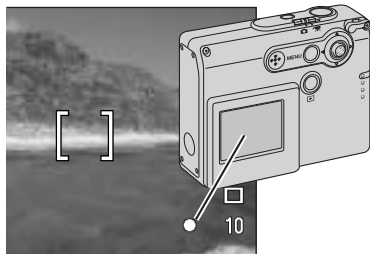
- 上に倒すと望遠に、下に倒すと広角になります。
- 液晶モニター内の［　］中のものにピントが合います。
  ※ピントが合わないときは →P.28
- 撮りたいものから10cm以上離れてください。
- ズーム操作を行うと、画面右側にズーム表示が現れます。
- デジタルズームを「あり」に設定している時(P.62)のズーム表示は、光学ズーム領域に加えデジタルズーム領域も表示されます。

4.シャッターボタンを半押しします。

- シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。そこまで押すことを「半押し」と呼びます。
- シャッターボタンを半押しするとピントが合います。ピントが合うと、液晶モニター右下には白い○が点灯します。
- AF音を設定しているときは、ピントが合うと音でお知らせします。
- 液晶モニターが消灯する場合は、フラッシュが充電中です。シャッターボタンを半押しし続けると再度点灯します。

※半押ししたときのその他の表示については →次ページ

5.シャッターボタンをゆっくり押し込んで撮影します。

● 撮影後シャッターボタンを押し込んだままにしていると、撮影した画像が液晶モニターに表示され確認することができます。連続撮影やセルフタイマー撮影の場合は、この機能は使用できません。

● 撮影された画像は自動的にカードに記録（書き込み）されます。書き込み中は赤色のアクセスランプが点滅します。**その間はカードを取り出さないでください。**

● シャッターボタンを半押しした時に現れる表示の意味は以下の通りです。

液晶モニター右下の表示	状況
白色の○点灯	ピントが合っています。撮影できます。
赤色の●点灯	ピントが合わない、または撮りたいものに近づき過ぎています（→ P.28）。
	シャッター速度が遅くなっています。手ぶれに注意するか、三脚を使って撮影してください。

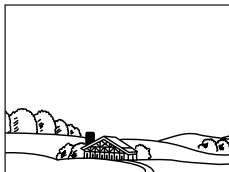
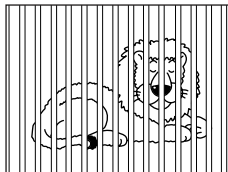
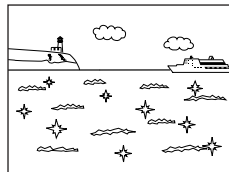
● 撮影終了後は、メインスイッチを押して電源を切ってください。 ON/OFF

ピント合わせ

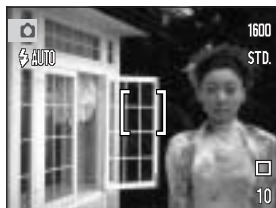
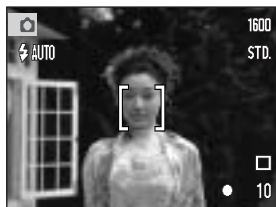
シャッターボタンを半押しすると、自動的にピント合わせが行われ、[　]の中のものにピントが合います。ピントが合うと、液晶モニターの白色のフォーカス表示○が点灯します。

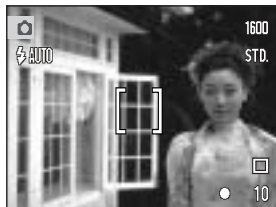
赤い●が点灯したときは、ピントが合っていません。以下を確認してください。
・撮りたいものから10cm以上離れていますか？
・オートフォーカスの苦手な被写体（以下参照）を撮影しようとしていませんか？

オートフォーカスの苦手な被写体

オートフォーカスのピント合わせは被写体のコントラスト（明暗差）を利用しています。したがって、次のような被写体ではオートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。このような場合は、次ページのフォーカスロック撮影で、被写体と同じ距離にあるものにピントを固定して撮影してください。

暗すぎるもの

青空や白壁など
コントラストのないもの

[　]の中に
距離の異なるものが
混じっているとき

太陽のように
明るいものや、
車のボディ、水面など
きらきら輝いているもの

ピントを合わせたいものが画面中央にないとき

ピントを合わせたいものが画面中央にないときに、そのまま撮影すると、中心部の背景にピントが合って人物がぼけてしまいます。このようなときは、次のようにしてピントを固定（フォーカスロック）して撮影してください。

1. ピントを合わせたいものに［　］を合わせ、シャッターボタンを半押しします。

● ピントが合っていること（液晶モニター右下の白い○点灯）を確認します。

2. シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に戻します。

3. シャッターボタンを押し込んで撮影します。

フラッシュ撮影

フラッシュが自動発光 ⚡AUTO の場合、必要時には自動的に発光します。

※フラッシュモードを変更するには → P.40

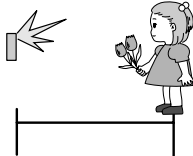
● シャッターボタンを半押ししていると、フラッシュの状態をフラッシュモードの表示でお知らせします。

フラッシュモードの表示	状況
赤色の ⚡AUTO 点灯	フラッシュ充電中です。 シャッターは切れません。
白色の ⚡AUTO 点灯	フラッシュの充電が完了しました。 撮影することができます。

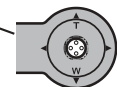
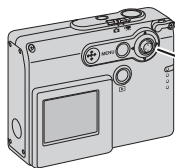
※表はフラッシュモードが自動発光の場合です。

● 画面表示が「表示なし」の場合は、フラッシュ充電中のみフラッシュモードの表示が赤く点灯します。
● 20cmより近くでフラッシュ撮影する場合は、フラッシュを発光禁止にしての撮影をおすすめします。
● 電池容量が少ないと、フラッシュ充電中は液晶モニターが消灯します。カードスロット横のフラッシュ／アクセスランプがオレンジ色に点滅して、充電中をお知らせします。

フラッシュ光の届く距離

フラッシュの光が届く範囲には限度があります。最広角側では3.6m、最望遠側では2.7mを目安に撮影してください。

広角側：0.20～3.6m
望遠側：0.20～2.7m

夜景など暗い場合は、フラッシュが発光しても遠くの景色は写りません。

画面表示の切り替え（撮影・動画撮影モード）

約2秒間押す

撮影モード 、動画撮影モード でコントローラーを約2秒間押すと、以下の通り表示を切り替えることができます。

表示あり　表示なし

● この使用説明書では、「表示あり」の状態で説明しています。

※各表示については → P.15

●「表示なし」のときも、電池容量（P.18）と写し込み表示（P.61）は表示されます。また、シャッターボタン半押し中はフォーカス表示とフラッシュ充電中の表示がされます。

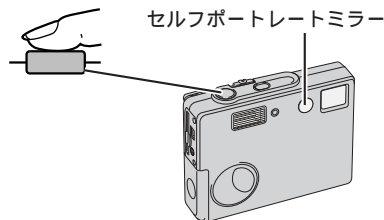
● オートリセット（P.60）を「あり」にしている場合は、電源を入れ直すと「表示あり」の状態になります。

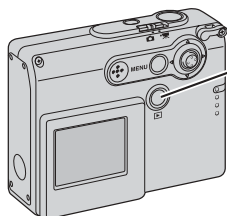
「表示なし」の設定を保持したいときは→ P.60

カメラ正面のミラーを使って自分撮りをする

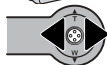
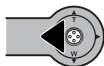
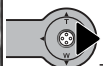
カメラ正面にあるミラーを見ながら、自分自身を撮影したり、ツーショットの撮影を行なうことができます。

1.カメラ前面のミラーで構図を確認し、シャッターボタンを半押しします。

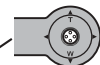
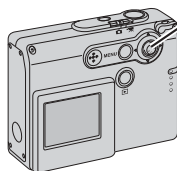
● 腕を伸ばして撮影してください。
● AF音を設定している場合は、ピントが合うとAF音が鳴ります。
● コントローラーを上下に倒してズームを変更することができます。ミラーは、広角時に使用するのに適しています。
● ズーム位置や、被写体からカメラまでの距離によっては、実際に撮影される範囲とセルフポートレートミラーに写っている範囲とが異なります。

2.シャッターボタンを押し込んで撮影します。

撮影した画像を見る（再生する）

1.再生ボタンを押します。

●撮影された最新の画像が表示されます。
液晶モニターに再生モードが表示されます。

●もう一度再生ボタンを押したり、撮影モード切り替えレバーを操作すると、撮影モード（または動画撮影モード）に戻ります。

2.コントローラーを左右に倒して見たい画像を選びます。

左へ倒す　右へ倒す

古い画像　新しい画像

●画像が記録されていない場合は、「画像がありません」と表示されます。
●押し続けると高速で画像が切り替わります。
●動画の場合は開始時の画像が表示されます。→P.68

画面表示の切り替え（再生モード）

再生モードでコントローラーを約2秒間押すと、以下の通り表示を切り替えることができます。

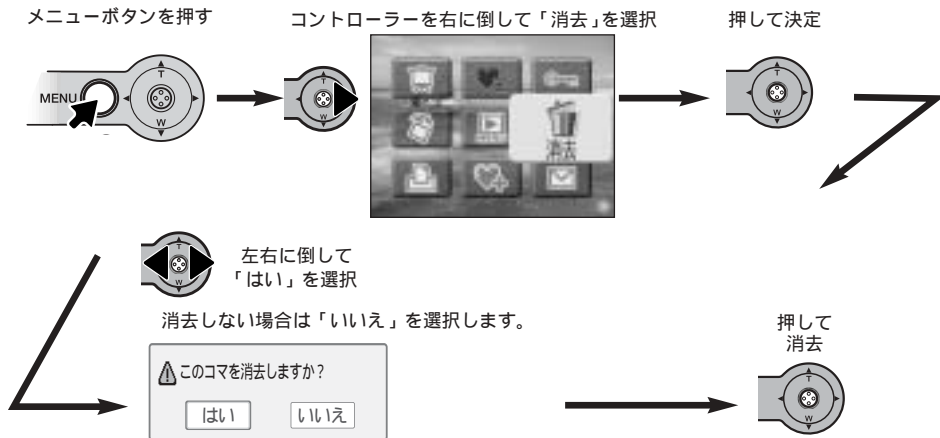
●この使用説明書では、表示ありの状態で説明しています。※各表示については → P.15

画像を手早く消去する

画像を1コマずつ簡単に消去することができます。

いったん消去した画像を復活させることはできません。

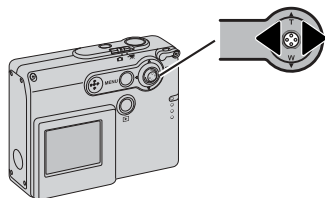
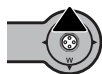
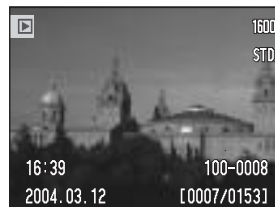
1.消去したいコマを再生させます。

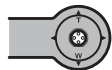
2.クイックパネルで「消去」を実行します。

● 画像がプロテクト（→ P.75）されていて消去できない場合は、消去のアイコンを選択できません。

● 消去後は次の画像が表示（再生）されます。他に消去したい画像があるときは、上の操作を繰り返します。

※複数の画像をまとめて消去するときは → P.73

再生画像を拡大する

再生画像を、最大6倍にまで拡大することができます。
●動画の拡大再生はできません。

1.コントローラーを左右に倒して見たい画像を選びます。

2.コントローラーを上に倒します。

●ズーム画面が現れ、コントローラーを上に倒すたびに画像が 最大6倍まで拡大されます。下に倒すと縮小されます。
● 現在の拡大倍率が画面右上に表示されます。
その右に、元画像のどの部分を拡大表示しているかを示すインジケータ（白は元画像全体、黄色は拡大再生されている部分）が現れます。
● メニューボタンを押すと拡大前の画像に戻ります。

拡大再生中にコントローラーを押すと、「ズーム画面」と「移動画面」を切り替えることができます。

ズーム画面

コントローラーを押すと移動画面になる

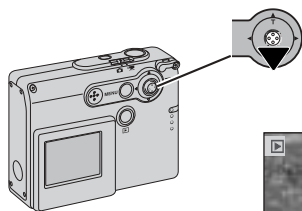
移動画面

移動に合わせて白いインジケータ内の黄色いインジケータも移動します。

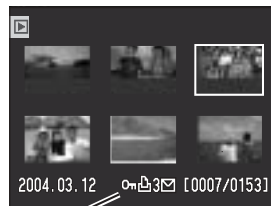
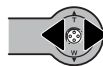
コントローラーを押すとズーム画面になる

「移動」画面選択中は、コントローラーを上下左右に倒して、見たい部分を移動させることができます。

インデックス再生

撮影した画像を6画像ずつまとめて表示することができます。画像を探すときなどに便利です。

コントローラーを下に倒してインデックス再生します。

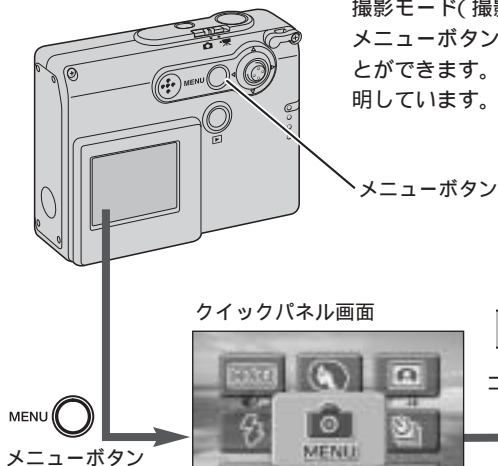
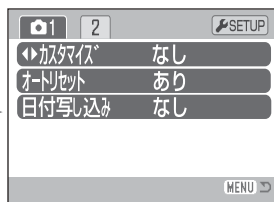
●上に倒すと1コマ再生に戻ります。

1コマ再生

インデックス再生

左右に倒して、見たい画像を選択します。

● キーを押し続けると、画像の選択が早送りされます。

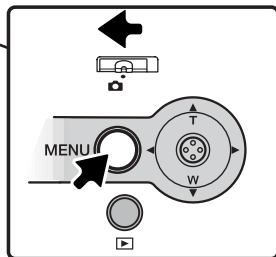
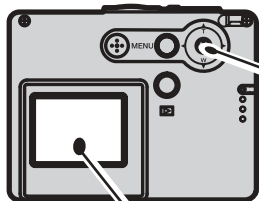
選択中の画像の内容や設定が表示されます。

撮影メニュー

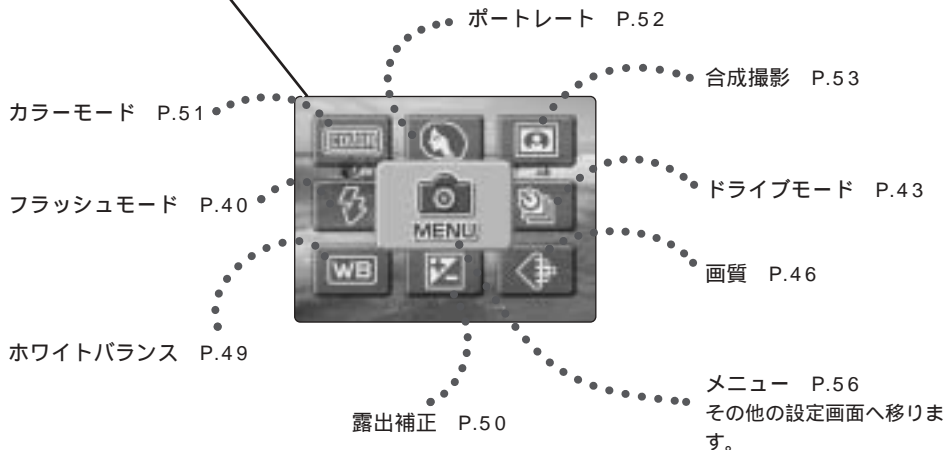
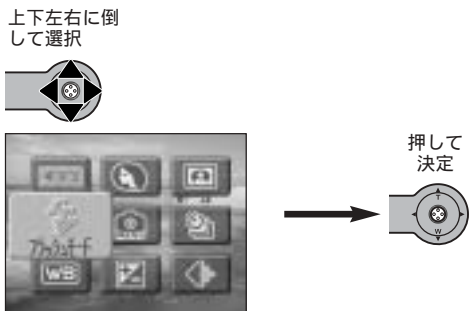
撮影モード（撮影モード切り替えレバーが📷位置）のときにメニューボタンを押すと、カメラの様々な設定を変更することができます。この章では撮影モードのメニューについて説明しています。

基本的な設定を変更します。（P.38）

その他の設定を変更します。（P.56）

クイックパネル（撮影メニュー）

撮影モード（撮影モード切り替えレバーが📷位置）のときにメニューボタンを押すと、撮影メニューのクイックパネルが表示され、9つのアイコンから基本的な設定をしたり、アイコンにない機能の設定画面（撮影メニュー）を呼び出したりすることができます。

1. カメラが撮影モードであることを確認して、メニューボタンを押します。

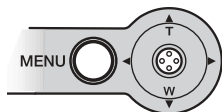
液晶モニターにクイックパネル（9つのアイコン）が表示されます。

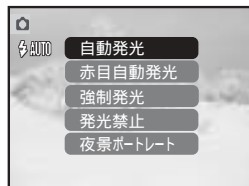
● クイックパネルが表示されている時にメニューボタンを押すと通常の撮影画面に戻ります。

2.コントローラーを上下左右に倒して、設定したい機能のアイコンを選択、押して決定します。

- 選択できるアイコン上にカーソルがくると、各々の機能の説明が表示されます。マークが表示されるアイコンは、設定を変更することができません。
- コントローラーを押してアイコンを選択すると、それぞれの設定画面が表示されます。

フラッシュモード

フラッシュモードを以下のように変更することができます。

AUTO	自動発光	必要時にはフラッシュが自動的に発光します。(P.41)
AUTO	赤目軽減自動発光	フラッシュで人物の目が赤く写るのをやわらげます。(P.41)
	強制発光	フラッシュは必ず発光します。(P.41)
	発光禁止	フラッシュは発光しません。(P.42)
	夜景ポートレート	夜景を背景に人物を撮影するときに使います。(P.42)

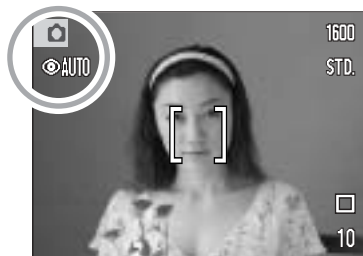
設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーで希望のフラッシュモードを選択し、押して決定します。

- 液晶モニターのフラッシュモード表示（AUTO や 等）が赤く点灯、またはフラッシュ／アクセスランプがオレンジ色に点滅したら、フラッシュが充電中です。充電が完了すれば撮影することができます。
- フラッシュモードを自動発光または赤目軽減自動発光 に設定し、撮影していた場合は、オートリセット（P.60）「あり」で電源を入れ直した後も、モードはそのまま保持されます。その他のフラッシュモードは、自動発光または赤目軽減自動発光（前回設定していた方）に戻ります。

フラッシュモードの設定を保持したいときは → P.60

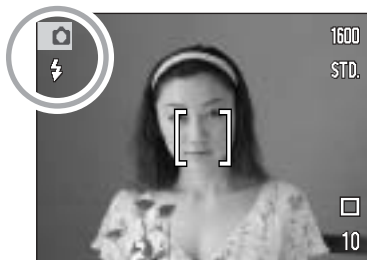
フラッシュ自動発光

暗い場所や逆光など必要時には自動的にフラッシュが発光します。

フラッシュ赤目軽減自動発光

暗いところで人物を撮影すると、フラッシュの光が目の中で反射して、目が赤く写ることがあります。このモードでは撮影の直前に小光量のフラッシュが発光し、目が赤く写るのをやわらげることができます。フラッシュは必要時には自動的に発光します。

P.40の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」から「赤目軽減発光」を選択し、コントローラーを押します。

- シャッターボタンを押すと、数回小光量のフラッシュが発光し、その後本発光とともに撮影されます。
- シャッターボタンを押してから撮影までの間、カメラを動かしたり写される人が動いたりしないよう注意してください。

フラッシュ強制発光

フラッシュは必ず発光します。屋外の人物撮影で顔の影をやわらげたい時などにお使いください。

P.40の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」から「強制発光」を選択し、コントローラーを押します。

次ページへ続く

フラッシュ発光禁止

フラッシュは発光しません。美術館などフラッシュの使用が禁止されている場所や、風景・夜景などフラッシュ光が届かない被写体を撮影するときにお使いください。

P.40の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」から「発光禁止」を選択し、コントローラーを押します。

● 暗いところでは手ぶれしやすいので、三脚などにカメラを固定して撮影されることをおすすめします（液晶モニター右下に が現れてお知らせします）。

夜景ポートレート

夜景を背景に記念撮影する場合、通常のフラッシュ撮影では手前の人物はきれいに写し出されますが、フラッシュ光の届かない背景は黒くつぶれてしまいます。そのような場合にこのモードを使うと、人物も背景もきれいに撮ることができます。目が赤く写るのをやわらげるため、撮影の直前に小光量のフラッシュが発光します。

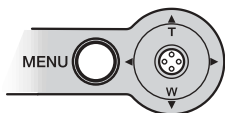
P.40の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」から「夜景ポートレート」を選択し、コントローラーを押します。

● 暗いところでは手ぶれしやすいので、三脚などにカメラを固定して撮影されることをおすすめします（液晶モニター右下に が現れてお知らせします）。

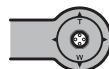
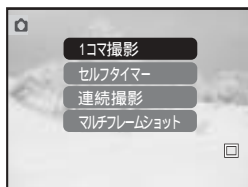
ドライブモード

ドライブモードの設定を変更すると、以下のような撮影を行なうことができます。

□ 1コマ撮影:　シャッターボタンを押すごとに、1枚ずつ撮影されます。
セルフタイマー:　シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。（P.44）
連続撮影:　シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影されます。（P.44）
マルチフレームショット: 9回の連続撮影を、画面を9分割して1つの画像に撮影します。（P.45）

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「ドライブモード」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーで希望のドライブモードを選択し、押して決定します。

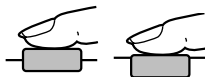
押して
決定

- オートリセット（P.60）が「あり」に設定されている場合は、電源を入れ直すと、ドライブモードの設定は1コマ撮影になります。　その他の設定を保持したいときは → P.60
- コントローラーカスタマイズでドライブモードを設定すると、コントローラーを左右に倒すだけでドライブモード（の設定）を切り替えることができます。詳しくは → P.58

セルフタイマー

シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。撮影者も一緒に写真に入るときに便利です。

P.43の要領で、クイックパネル→「ドライブモード」から「セルフタイマー」を選択し、コントローラーを押します。

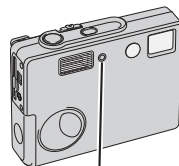
● セルフタイマー設定時は液晶モニター右下にが表示されます。

2.シャッターボタンを半押しし、被写体にピントが合っていることを確認します。

3.シャッターボタンを押し込みます。

● セルフタイマーの作動中は、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。撮影直前にはランプが素早い点滅、そして点灯となり、撮影のタイミングをお知らせします。

● セルフタイマー作動中はランプと同様に音でもお知らせします。音を消すこともできます（→ P.106）。

● 作動中のセルフタイマーを止めるには、メニューボタンを押すか、コントローラーを上か下に倒してください。

● 撮影後、セルフタイマーは解除されます。

連続撮影

シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影されます。最高毎秒約1.2コマの連続撮影ができます（画質1600×1200ファイン、日付写し込み「なし」設定、フラッシュ非発光時）。

1.P.43の要領で、クイックパネル→「ドライブモード」から「連続撮影」を選択し、コントローラーを押します。

● 連続撮影設定時は液晶モニター右下にが表示されます。

2.シャッターボタンを押し続けて撮影します。

- フラッシュが発光するときは、フラッシュの充電が完了してから撮影されます。
- 日付写し込みを「あり」に設定している場合は、連続撮影の速度は遅くなります。
- 連続撮影できる枚数には、カメラの内部メモリ容量による上限があります（以下参照）。これらの値は、被写体によっても異なりますので、あくまで目安とお考えください。

1600x1200　ファイン：約5枚	1600x1200　スタンダード：約7枚
1280x960　スタンダード：約12枚	640x480　スタンダード：約22枚

ドライブモード

▦ マルチフレームショット

9回の連続したコマを画面を9分割した1枚の画像に撮影することができます。人の表情の変化などを撮影して楽しむことができます。

1. P.43の要領で、クイックパネル→「ドライブモード」から「マルチフレームショット」を選択し、コントローラーを押します。

- 液晶モニター右下に ▦ が表示されます。

2.シャッターボタンを押して撮影します。

- フラッシュは自動的に発光禁止になります。
- 毎秒3コマで、9コマの撮影がされます。
- マルチフレームショットでは、シャッター音（ブザー音)を「あり」にしていても（P.106）、音は鳴りません。
- 手ぶれの少ない、適正な露出のマルチフレームショットを撮影するには、明るいところでの撮影をおすすめします。
- デジタルズームは使用できません。

画質モード

画質モード（画像サイズと圧縮率の組み合わせ）を指定することができます。以下の4つのモードから選ぶことができます。

画質モード	画像サイズ	圧縮率	説明	表示
1600x1200 FINE (ファイン)	1600x1200 (UXGA)	小	パソコンに取り込んで加工するときや、プリント（印刷）する*場合におすすめします。約190万画素の画像が撮影できます。 *L版（127㎜×89㎜）～A5（210㎜×148㎜）程度	1600 FINE
1600x1200 STD. (スタンダード)	1600x1200 (UXGA)	中	プリントする*場合におすすめします。約190万画素の画像が撮影できます。 *L版（127㎜×89㎜）～A5（210㎜×148㎜）程度	1600 STD.
1280x960 STD. (スタンダード)	1280x960 (SXGA)	中	枚数を多く撮るときに便利です。約120万画素の画像が撮影されます。	1280 STD.
640x480 STD. (スタンダード)	640x480 (VGA)	中	1枚のカードに最も多くの枚数を撮影することができます。ファイルサイズが小さいので、Eメールに添付するときやホームページ用の画像として最適です。	640 STD.

ここでいうプリントとは、印刷解像度150dpi～300dpi の場合を指しています。

画像サイズについて

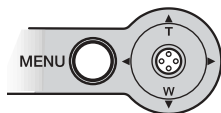
デジタル画像は縦横に細かく分割されて表現されています。例えば画像サイズ1600×1200画素の場合、画像は横に1600、縦に1200に分割され、その1点1点（画素）にそれぞれ色が付き、全体として1つの写真になっています。画像サイズとは、このように並んでいる画素の数（記録画素数）を表し、画素 または ピクセル、ドットといった単位で表されます。

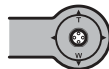
画像をプリント（印刷）する場合は、大きなサイズで撮影しておくほどきれいにプリントできますが、1枚当たりのファイルサイズ（データ量）が大きくなりますので、カードに記録できる（撮影できる）枚数は少なくなります。ご使用のカード容量や用途に合わせてお選びください。

圧縮率について

画像を圧縮しないとファイルサイズ（P.48）が大きくなるため、デジタルカメラでは画像を圧縮して記録する方法が一般的です。1600x1200 FINE（ファイン）は圧縮率が小さく、他のSTD.（スタンダード）画像は圧縮率がファインよりも大きくなります。スタンダードよりもファインの方が高画質ですが、高画質になるほど1枚当たりのファイルサイズが大きくなりますので、カードに記録できる（撮影できる）枚数は少なくなります。また、JPEG形式の画像は保存すると圧縮率が大きいほど画質は劣化します。いったん劣化した画像を撮影後にパソコン等で復元することはできません。特に後で画像の加工や編集を行う場合、保存の作業の度に画質は劣化しますので、撮影は1600x1200 FINE（ファイン）の設定で行なうことをおすすめします。

このカメラでは、画像がJPEG（ジェイペグ）形式で圧縮されて記録されます。圧縮率が大きくなるほどファイルサイズは小さくなり、1枚のカードに記録できる枚数が増えます。

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「画質」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーで希望の画質モードを選択し、押して決定します。

ファイルサイズと撮影画像数について

画質モード（画像サイズと圧縮率の組み合わせ）によってファイルサイズが決まり、ファイルサイズと使用しているカードの容量によって1枚のカードに記録できる撮影画像数が決まります。ファイルサイズの目安と付属のSDメモリーカード使用時の撮影画像数は以下の通りです。

● 下記の値は被写体やカードによって異なるため、あくまで目安とお考えください。

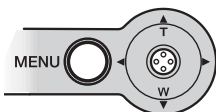
画質モード	ファイルサイズ	撮影画像数
1600 x 1200 FINE (ファイン)	約1.0MB	約5コマ
1600 x 1200 STD. (スタンダード)	約540KB	約11コマ
1280 x 960 STD. (スタンダード)	約380KB	約16コマ
640 x 480 STD. (スタンダード)	約150KB	約42コマ
動画	約300KB/秒 (320×240) 約75KB/秒 (160×120)	約21秒(320×240) 約1分26秒(160×120)

8MB SDメモリーカード使用時

ホワイトバランス

光源によって被写体の色は変化します。特に白いものは、光源によって青っぽくなったり黄色っぽくなったりします。白いものが白くなるように調整するのがホワイトバランスです。AUTO（オート）にすると自動的に調整されますが、意図的に選択することもできます。

AUTO 自動的に調整されます。　☼ 昼光（晴れた明るい屋外）　☁ 曇天（曇った屋外）
白熱灯（タングステン光）　蛍光灯

設定方法

1.P.38の要領で、クイックパネル→「ホワイトバランス」を選択し、コントローラーを押します。

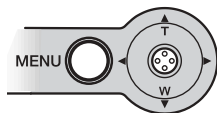
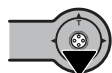
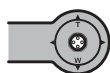
2.コントローラーで希望のホワイトバランスを選択し、押して決定します。

- 複数の光源がある場合や、水銀灯など特殊な光源下では、正確なホワイトバランスが得られないことがあります。フラッシュの使用をおすすめします。
- オートリセット（P.60）を「あり」に設定している場合は、電源を入れ直すと、ホワイトバランスの設定はAUTOになります。

その他の設定を保持したいときは→P.60

露出補正

画像全体を明るくしたり暗くしたりします。±2.0段の範囲内で1/3段刻みで補正することができます。
＋側にすると画面全体が明るくなります。白い被写体を白く表現するときや、黒い被写体をつぶさずに描写するときなどに使います。
－側にすると画面全体が暗くなります。黒い被写体を黒く表現するときなどに使います。

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「露出補正」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーで希望の露出補正値を選択し、押して決定します。

● 露出補正を解除するときは、上記の要領で±0.0を選んでください。
● オートリセット（P.60）を「あり」に設定しているときは、電源を入れ直すと、露出補正値は0になります。

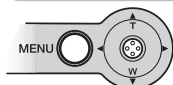
露出補正値を保持したいときは→P.60

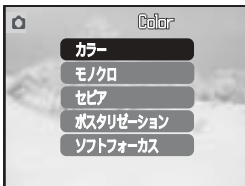
カラーモード

モノクロ（白黒）やセピアに色調を変えたり、ポスタリゼーションやソフトフォーカスのような画像効果が楽しめます。

Color　カラー：通常の撮影で、フルカラーの画像になります。
BW　モノクロ：白黒画像が撮影されます。
SEPIA　セピア：やや色あせた(セピア調)全体に黒茶色の画像が撮影されます。
Postar　ポスタリゼーション：階調の少ない、アーティスティックなハイコントラストの画像になります。
Soft　ソフトフォーカス：ソフトフィルターで撮影したようにハイライト部分が柔らかに表現されます。

● ソフトフォーカスモードに動画や、合成撮影、連続撮影、マルチフレームショットを組み合わせて撮影することはできません。ソフトフォーカスモードに入る前に連続撮影やマルチフレームショットドライブモードが設定されていた場合、ドライブモードは一時的に1コマ撮影となります。

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「カラーモード」を選択し、コントローラーを押します。

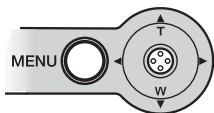
2. コントローラーで希望のカラーモードを選択し、押して決定します。

現在の設定が選択されています。

● ソフトフォーカス以外は、画像の色の変化をカメラの液晶モニターで確認しながら、設定を変更できます。
● モノクロやセピアを選んでも、画像ファイルサイズはカラーとほぼ同じです。
● オートリセット（P.60）を「あり」に設定しているときは、電源を入れ直すとモードは「カラー」になります。

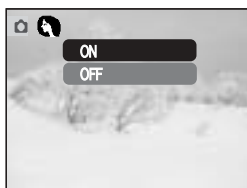
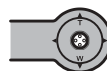
その他の設定を保持したいときは→P.60

ポートレート

カメラ内部の画像処理により、美しいポートレートを撮影することができます。デジタル処理を加えることで肌をなめらかに髪や目などをはっきりと再現します。

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「ポートレート」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーでONを選択し、押して決定します。

現在の設定が選択されています。

上下に倒して設定を選択

押して決定

ポートレートが選択されている時は、液晶モニターの左上にアイコンが表示されます。

● ポートレートを解除するには、上記の要領で「OFF」を選んでください。

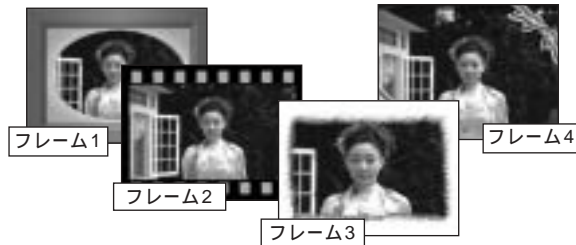
● オートリセットを「あり」に設定している場合は、電源を入れ直すとポートレートの設定はOFFになります。

ONの設定を保持したいときは→P.60

合成撮影

撮影したい画像にフレームを合成させたり、2つの画像が隣り合わせになるように撮影する（カップリングショット）ことができます。

フレーム合成

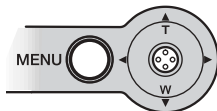
4つのフレームから1つを選んで、合成撮影することができます。

カップリングショット

2つの画像が隣り合わせになるように撮影することができます。カップリングショットを使って、2人が交代で撮影し1つの画面におさめたり、名刺と人物を同じ画面に写し込んだりすることができます。

設定方法

● クイックパネルや撮影メニューで、フラッシュモードや画像サイズなど、各種設定をする場合は、合成撮影モードに入る前に行ってください。

クイックパネルでの設定→P.38
撮影メニューでの設定→P.56

● 合成撮影と連続撮影やマルチフレームショットを組み合わせることはできません。

1. P.38の要領で、クイックパネル→「合成撮影」を選択し、コントローラーを押します。

次ページへ続く

2.コントローラーで希望の設定を選択し、押して決定します。

現在の設定が選択されています。

なし
フレーム 1
フレーム 2
フレーム 3
フレーム 4
カップリングショット

上下に倒して設定を選択

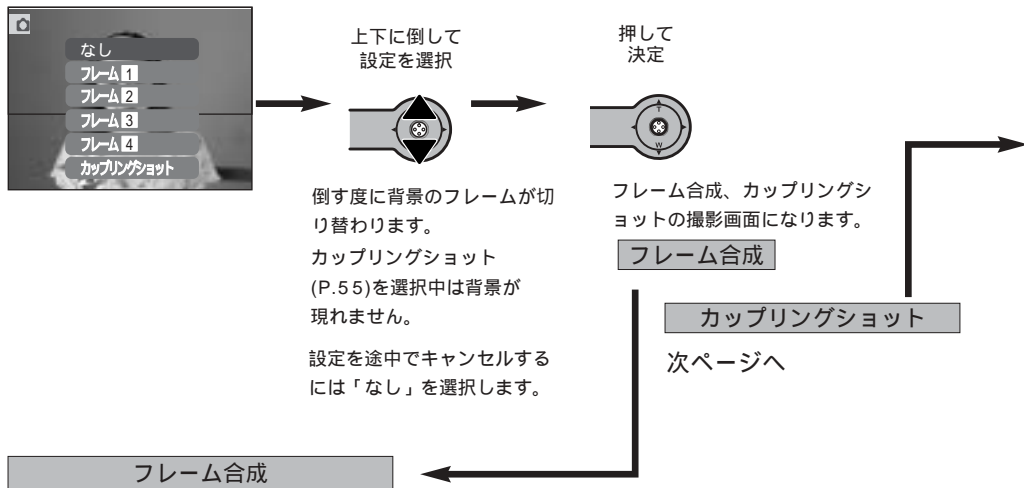
- 倒す度に背景のフレームが切り替わります。
- カップリングショット(P.55)を選択中は背景が現れません。
- 設定を途中でキャンセルするには「なし」を選択します。

押して決定

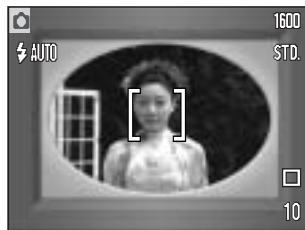
- フレーム合成、カップリングショットの撮影画面になります。

フレーム合成

カップリングショット

次ページへ

フレーム合成

3.ピントをあわせたいものにフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを押して撮影します。

- 撮影後、合成処理が始まります。画質モードによっては処理に時間がかかります。

- フレーム合成モードは撮影後に解除され、通常撮影画面に戻ります。

カップリングショット

3.ピントをあわせたいものにフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを押して撮影します。

●撮影したいものを画面の左半分におさめてください。

4.画面の右半分に撮りたいものを入れ、シャッターボタンを押して撮影します。

●画面の右半分が撮影されます。

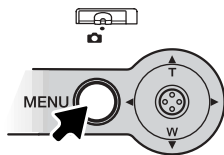
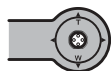
●撮影後、合成処理が行われます。

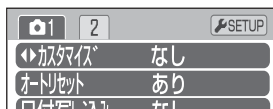
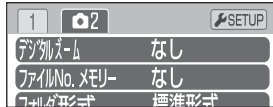
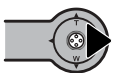
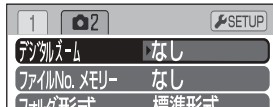
●カップリングショットモードは撮影後に解除され、通常撮影画面に戻ります。

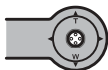
●縦位置での撮影では、上下に隣り合った画像が合成されます。

撮影メニュー

メニューボタンを押して表示されるクイックパネルから、さらに他の設定が変更できる撮影メニューの画面に入ることができます。

設定方法

1.カメラが撮影モードであることを確認して、メニューボタンを押します。

2.クイックパネルで「MENU」が選ばれている状態で、コントローラーを押します。

● 詳細な設定変更の画面へ移ります。

3.コントローラーを左右に倒して「📷1」「📷2」のいずれかを選びます。

4.コントローラーを上下に倒し、希望の項目を選びます。

5.コントローラーを右に倒して、設定の内容を表示させます。

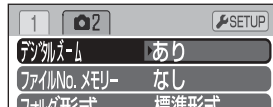
6.コントローラーを上下に倒して、希望の設定を選びます。

7.コントローラーを押して、設定を決定します。

8.メニューボタンを押して、元の画面に戻ります。

●設定中にメニューボタンを押すと設定が中断され、通常撮影画面に戻ります。

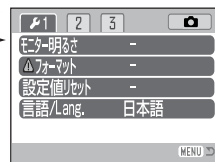
設定内容

◎は初期設定値です。

1

項目	設定
カスタマイズ P.58	フラッシュモード 露出補正 ドライブモード ホワイトバランス ◎なし
オートリセット P.60	◎あり なし
日付写し込み P.61	年月日 月日時刻 ◎なし

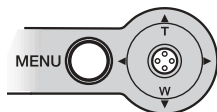
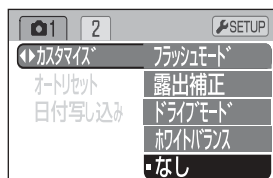
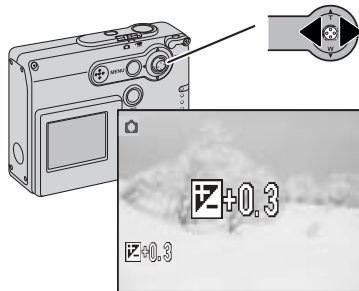
2

項目	設定
デジタルズーム P.62	あり ◎なし
ファイルNo.メモリー P.63	あり ◎なし
フォルダ形式 P.64	◎標準形式 日付形式

SETUPタブを選んでコントローラーを押すと、セットアップメニューの画面になります。P.97

コントローラーカスタマイズ

撮影時によく使う4つの機能の内の1つをコントローラーに割り当てることができます。コントローラーを左右に倒すだけで設定を変更できますので、メニュー画面で設定する手間が省けます。

機能	説明	ページ
フラッシュモード	コントローラーを左右に倒す度にフラッシュモードの設定が切り替わります。	40
露出補正	コントローラーを右に倒す度に「＋」側に補正され、左に倒す度に「－」側に補正されます。（±2.0、1/3ステップ）	50
ドライブモード	コントローラーを左右に倒す度にドライブモードの設定が切り替わります。	43
ホワイトバランス	コントローラーを左右に倒す度にホワイトバランスの設定が切り替わります。	49
なし	初期設定では、コントローラーに機能は割り当てられていません。	―

設定方法

1. P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「1」→「カスタマイズ」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

コントローラーの操作方法

1.左または右へ倒します。

● 現在の設定が、液晶モニターの中央に大きく表示されます。

2.左または右へ倒すたびに設定が変更されます。

● 希望の設定に変更した後、しばらくすると元の撮影画面に戻ります。ボタン等を操作すると、すぐに元の撮影画面に戻ります。

● オートリセットを「あり」に設定している場合は、コントローラーカスタマイズで設定した項目は、電源を入れ直すと以下の状態にリセットされます。
フラッシュモード：AUTO
ドライブモード：□（1コマ撮影）
露出補正：0
ホワイトバランス：AUTO

● 露出補正、ホワイトバランスのコントローラーカスタマイズ設定は動画撮影でも有効です。

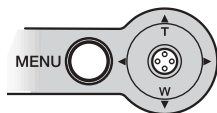
オートリセット

オートリセットを「あり」にすると、メインスイッチを入れ直すたびに下記の設定項目が初期設定に自動的に戻ります。「なし」にすると、メインスイッチを入れ直しても前回に使用した設定が保持されます。

状態の変わる項目	初期設定（この状態に戻ります）
画面表示の切り替え（P.31）	表示あり
フラッシュモード *（P.40）	自動発光または赤目軽減自動発光
ドライブモード（P.43）	1コマ撮影
露出補正 *（P.50）	±0.0
ホワイトバランス（P.49）	AUTO
カラーモード（P.51）	カラー
ポートレート（P.52）	OFF

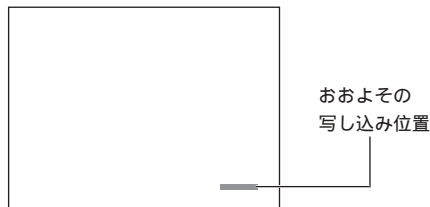
*フラッシュモードを前回 自動発光または赤目軽減自動発光 に設定し、撮影していた場合は、オートリセット「あり」で電源を入れ直しても、モードはそのまま保持されます。その他のフラッシュモードは、自動発光または赤目軽減自動発光（前回設定していた方）に戻ります。
*画面表示の切り替え、露出補正、ホワイトバランス、カラーモードは動画撮影モードでも初期設定に戻ります。

- お買い上げ時は、オートリセット「あり」に設定されています。電源を入れ直したときに前回設定した状態でそのまま撮影したい場合は、オートリセットを「なし」にしてください。

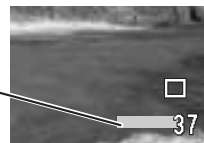
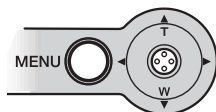
設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「1」→「オートリセット」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

日付写し込み

撮影の「年月日」または「月日時刻」を、画像の右下に入れることができます。

●実際の写し込み位置は右のようになります。

●日付写し込みを「なし」に設定していても、撮影時の年月日・時刻は記録され、再生時には液晶モニター画面左下に表示されます。

※年月日の並びを変更するときは → P.108

日付写し込みを「年月日」または「月日時刻」に設定したときは、液晶モニター画面右下に黄色のバーが表示されます。

設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「1」→「日付写し込み」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

デジタルズーム

通常のズーム（光学ズーム）で最望遠側にした後、デジタルズームにより、さらに4倍まで画像を拡大することができます。

● デジタルズームは拡大すればするほど、画質は劣化します。

設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「📷1」→「デジタルズーム」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

操作方法

1.撮影モード位置（📷）で、コントローラーを上に倒して望遠側にズームさせます。

2.そのままズームを続けると自動的にデジタルズームになり、画像がさらに4倍まで拡大されます。

● 液晶モニター右上に、現在のデジタルズームでの倍率が表示されます。最大4.0倍まで拡大することができます。

● ズームしているあいだ、画面右側にズーム表示が現れます。デジタルズームを「あり」に設定している時は、光学ズーム領域に加えデジタルズーム領域も表示されます。

● デジタルズームは、拡大すればするほど画質は劣化します。ただしこのカメラでは画像補間が行われますので、画像サイズは変わりません。

● 動画撮影（P.66）の場合も、同様のデジタルズームが可能です。

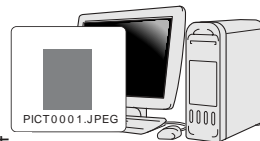
ファイルNo.メモリー

撮影した画像を、パソコンに取り込むと（パソコンへの取り込み方法 P.109～）画像に以下のようなファイル名がつけられています。そのファイル名につけられた数字をファイル番号（No.）といいます。

ファイル名の例：

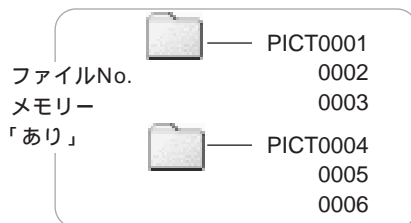
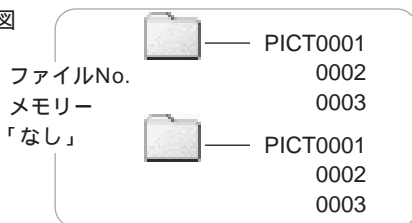
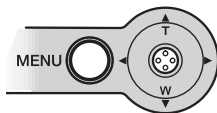
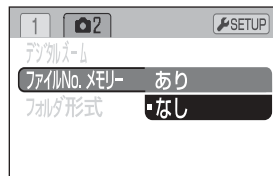
PICT 0001 .JPG

ファイル番号（0001～）　拡張子（ファイルの種類を識別する部分）

● お使いのパソコンの設定によっては、拡張子が表示されない場合があります。

フォルダが変わると、初期設定のファイルNo.メモリー「なし」では、ファイル名は再び"PICT0001"から始まります。これを続き番号にすることができます。

なし：　ファイルNo.メモリーは機能しません。撮影フォルダが変わったり、日付形式フォルダで日付が変わってフォルダが変わったりすると、ファイル番号は0001 に戻ります。同一フォルダ内にすでにファイルが存在する場合は、その続き番号から始まります。

あり：　ファイルNo.メモリーが機能します。フォルダの変更、全画像の消去、カードの交換やフォーマットを行なっても、ファイル番号はそのまま続きます。

イメージ図

設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「📷2」→「ファイルNo.メモリー」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

フォルダ形式

撮影した画像をパソコンに取り込むと（パソコンへの取り込み方法 P.109～)、フォルダの中に画像ファイルが保存されています。

フォルダの形式は「標準形式」と「日付形式」の2種類があります。初期設定は「標準形式」になっていますが、フォルダ形式で「日付形式」に切り替えることができます。

DCIM

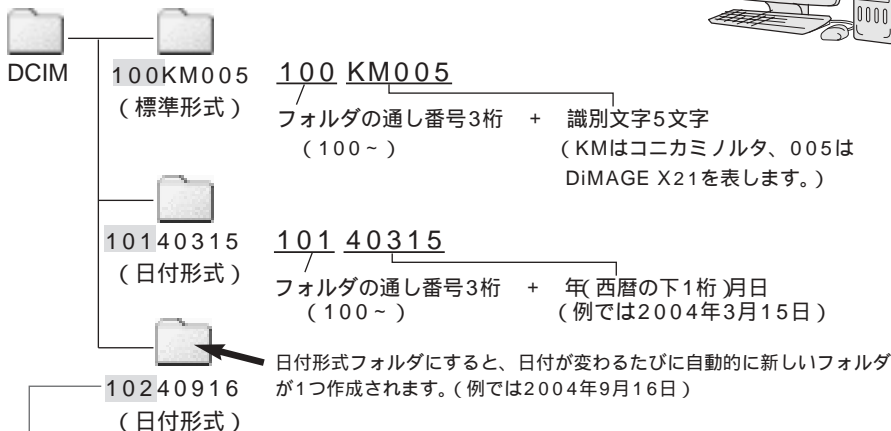
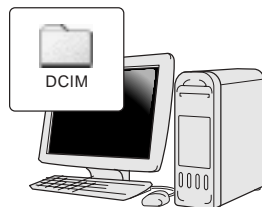
100KM005（標準形式）

100 KM005
フォルダの通し番号3桁（100～） ＋ 識別文字5文字（KMはコニカミノルタ、005はDiMAGE X21を表します。）

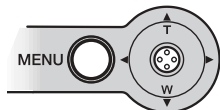
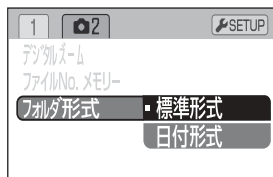
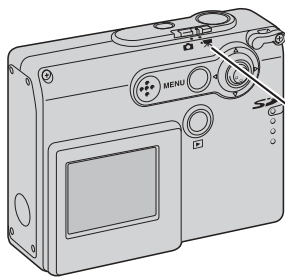
10140315（日付形式）

101 40315
フォルダの通し番号3桁（100～） ＋ 年(西暦の下1桁)月日（例では2004年3月15日）

10240916（日付形式）

日付形式フォルダにすると、日付が変わるたびに自動的に新しいフォルダが1つ作成されます。（例では2004年9月16日）

通し番号は“ 100 ”から始まり、フォルダが作成されるたびに 1つずつ増えて行きます。

- 日付形式フォルダは、日付・時刻を正確に合わせた状態でお使いください。
- フォルダの削除は、カメラをパソコンに接続してパソコン側で行なうか (→ P.109～)、カメラ側でカードをフォーマットしてください (→ P.102)。

設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「📷2」→「フォルダ形式」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

動画撮影モード

カメラの撮影モード切り替えレバーを位置にすると、動画撮影モードになります。この章では、この動画撮影について説明しています。

このカメラは、カードの容量がなくなるまで連続しての動画撮影ができます。長時間連続して動画撮影される場合は、別売りのACアダプター AC-12のご使用をおすすめします。

動画撮影

カードの容量がなくなるまで、連続して動画撮影を行なうことができます。

ON/OFF

1.カメラの電源を入れ、撮影モード切り替えレバーを に合わせます。

● 液晶モニターが動画撮影の画面になります。

2.シャッターボタンを押して撮影を開始します。

● カードの容量が残り少なくなるなど撮影可能時間が１０秒以下になると、残り時間が赤色で表示されます。

● ピント位置は、動画撮影開始時に固定されます。

3.撮影を止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

● 残り秒数が 0 になったときは、シャッターボタンを再度押さなくても自動的に撮影が終了します。

● 電池の容量表示が （赤色）のときは、動画撮影できません。「電池が少ないので動画撮影できません」のメッセージが表示されます。

● 記録（書き込み）速度の遅いカードを使用されている場合、カメラの内部メモリがいっぱいになってしまい、カード容量がなくなる前に動画撮影が終了することがあります。

● 録画された動画は、ＳＤメモリーカード内にMotion ＪＰＥＧ（ＭＯＶ）ファイルとして保存されます。

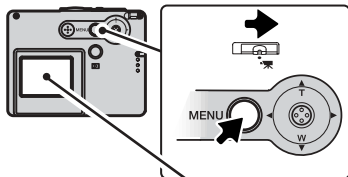
● 付属の８ＭＢのカードには、合計約２１秒間（画像サイズ３２０×２４０）、または、合計約１分２６秒間（画像サイズ１６０×１２０）の動画を記録することができます。

● 音声は入りません。

動画撮影時に設定/変更可能な機能は以下の通りです。

	動画撮影する前	動画撮影中
設定／変更可能なもの	・コントローラーを上下に倒すことによるズーム（光学ズーム、デジタルズーム） ・コントローラーを2秒間押して液晶表示の切り替え（表示あり⟷表示なし） ・動画撮影メニュー	コントローラーを上下に倒すことによるデジタルズーム

動画撮影メニュー

撮影モードレバーが動画撮影位置 にあるときにメニューボタンを押すと、動画撮影メニューのクイックパネルが表示され、カメラの様々な設定を変更することができます。

1.カメラが 動画撮影モードであることを確認して、メニューボタンを押します。

●液晶モニターに5つのアイコンが表示されます。

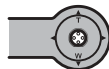
ホワイトバランス　P.49

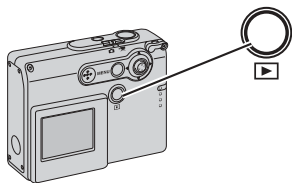
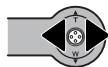
カラーモード　P.51
ソフトフォーカスは設定できません。

セットアップ
セットアップのメニュー画面へ移ります。**P.97**

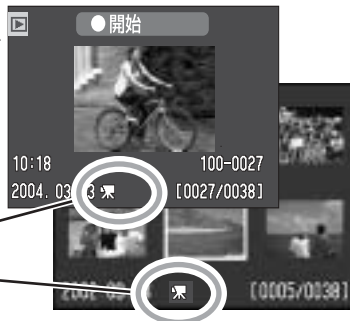
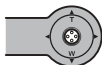
画像サイズ
動画撮影で画像サイズを小さくすると、画質は落ちますが連続撮影時間が長くなります。
320×240（初期設定）
160×120

露出補正　P.50

2.コントローラーを上下左右に倒して、設定したい機能のアイコンを選択、押して決定します。

●露出補正、ホワイトバランス、カラーモード（ソフトフォーカスは設定できません）の設定は、撮影モード のメニュー設定と共通です。一方で設定すると、もう一方のモードにも設定が反映されます。
●選択できるアイコン上にカーソルがくると、各々の機能の説明が表示されます。
●コントローラーを押してアイコンを選択すると、それぞれの設定画面が表示されます。

動画の再生

1.再生ボタンを押して、再生モードにします。

2.1コマ再生、または、インデックス再生で、動画を選択します。

●動画開始時の画像が静止画として現れます。

●開始
10:18
100-0027
[0027/0038]

画像に が表示されています。

3.コントローラーを押すと、動画の再生が開始されます。

●右上の数値は経過時間です。

●再生中にコントローラーを押すと、一時停止・再スタートを繰り返します。コントローラーを左右に倒して再生の巻戻し、早送りができます(右に倒すと早送り、左に倒すと巻戻し)。

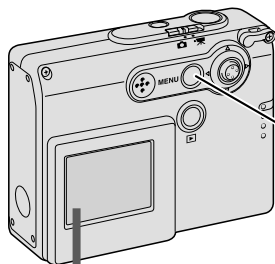
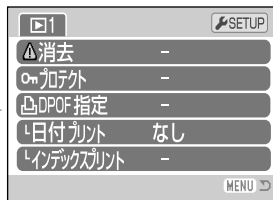
●一時停止中にコントローラーを左右に倒すと、コマ送りができます。

4.再生を終えるときは、メニューボタンを押します。

●最後まで再生が終了すると、自動的に再生開始前の画面に戻ります。

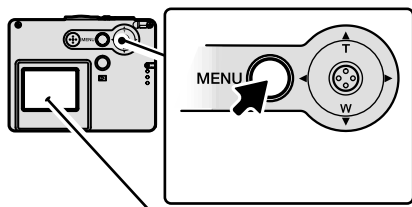
●動画の拡大再生はできません。

再生メニュー

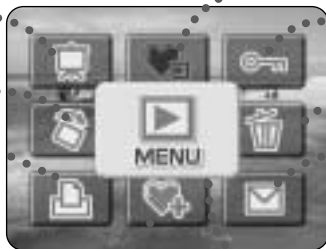
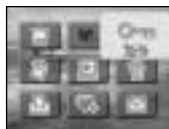
再生モードのときにメニューボタンを押すと、カメラの様々な設定を変更することができます。この章では再生モードのメニューについて説明しています。

現在再生中の1コマに対しての操作をしたり、手早く操作を開始したりします。（P.70）

さらに詳細な設定や、複数のコマに対しての設定をします。（P.71）

クイックパネル（再生メニュー）

再生ボタンを押し、メニューボタンを押すと再生メニューのクイックパネルが表示されます。クイックパネルでは、現在再生中の1コマに対しての操作をしたり、手早く操作を開始したりします。また、より詳細な機能の設定画面（再生メニュー）を呼び出したりすることができます。

1.カメラが再生モードであることを確認して、メニューボタンを押します。

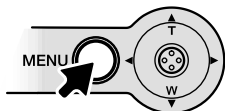
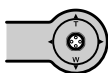
● 液晶モニターにクイックパネル（9つのアイコン）が表示されます。

● クイックパネルが表示されている時にメニューボタンを押すと再生画面に戻ります。

2.コントローラーを上下左右に倒して、設定したい機能のアイコンを選択、押して決定します。

● 選択できるアイコン上にカーソルがくると、各々の機能の説明が表示されます。🚫マークが表示されるアイコンは、設定を変更することができません。

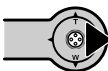
● コントローラーを押してアイコンを選択すると、それぞれの設定画面が表示されます。

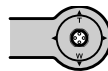
再生メニュー

複数の画像に対してまとめて設定をする場合や、さらに詳細の設定をする場合はメニュー画面で行ないます。

設定方法

1.カメラが再生モードであることを確認して、メニューボタンを押します。

2.クイックパネルで「MENU」が選ばれている状態で、コントローラーを押します。

●詳細な設定変更の画面へ移ります。

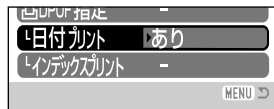
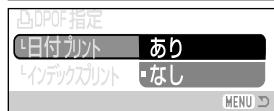
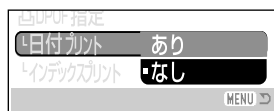
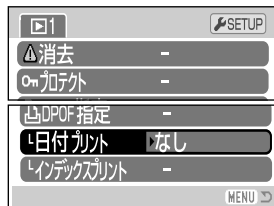
3.コントローラーを上下に倒し、希望の項目を選びます。

4.コントローラーを右に倒して、設定の内容を表示させます。

5.コントローラーを上下に倒して、希望の設定を選びます。

6.コントローラーを押して、設定を決定します。

MENU

7.メニューボタンを押して、元の画面に戻ります。

●設定中にメニューボタンを押すと設定が中断され、再生画面に戻ります。

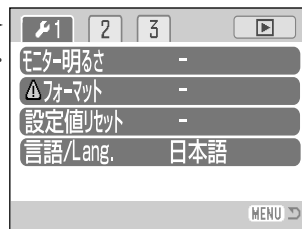
次ページへ続く

設定内容

◎は初期設定値です。

再生メニューで、以下の設定が変更できます。

▶1

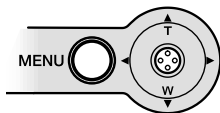
項目	設定
消去 P.73	このコマ 全コマ コマを指定
プロテクト P.75	このコマ 全コマ コマを指定 全コマ取り消し
DPOF指定 P.81	このコマ 全コマ コマを指定 全コマ取り消し
└日付プリント P.84	あり ◎なし
└インデックスプリント P.85	作成する 作成しない

SET UPタブを選んでコントローラーを押すとセットアップメニューの画面になります。（P.97）

画像を消去する

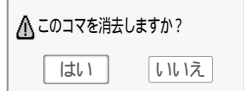
撮影した画像を消去します。

いったん消去した画像を復活させることはできません。

1コマずつ消去する

1.消去したいコマを再生させます。

2.P.70の要領で、クイックパネル→「消去」を選択し、コントローラーを押します。

3.コントローラーを左右に倒して「はい」を選択します。

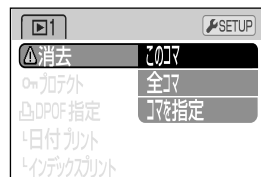
● 消去しない場合は「いいえ」を選択します。

4.コントローラーを押して画像を消去します。

● 画像がプロテクト（→ P.75）されていて消去できない場合は、消去のアイコンを選択できません。

複数の画像を消去する

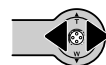
メニューでは複数の画像をまとめて消去することもできます。以下の3通りの消去方法があります。

このコマ（1コマ消去）：　再生中の画像を1コマだけ消去します。
全コマ（全コマ消去）：　カード内の画像すべてを消去します。
コマを指定：　指定した画像だけを消去します。

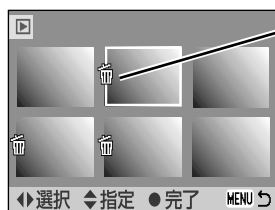
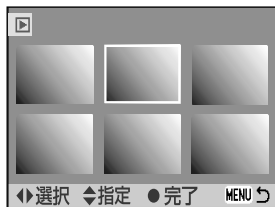
1.P.71の要領で、クイックパネル→再生メニュー→「▶1」→「消去」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

「このコマ」「全コマ」の場合
3.の確認画面へ

「コマを指定」の場合
2.でコマを指定後、**3.**の確認画面へ

次ページへ続く

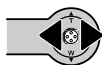
2.「コマを指定」の場合、コントローラーで消去するコマを指定し、決定します。

左右に倒して
画像を選択

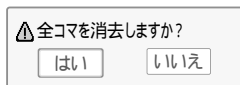
上に倒して
画像を指定

下に倒して
指定を解除

消去を指定したコマには🗑が表示されます。必要なだけこの操作を繰り返します。

押して
指定を完了

- コントローラーを押すと、**3.**の消去確認画面に進みます。
- コントローラーを押す代わりにメニューボタンを押すと、画像の指定が解除され、元の画面に戻ります。

3.確認後、消去します。（下図は全コマ消去の場合）

左右に倒して
選択

押して決定

- 🔑が表示されている画像はプロテクト（誤消去防止、→次ページ）されていて、消去できません。

⚠プロテクトされています

- 消去後にカード内の画像がなくなった場合は、右のメッセージが表示されます。

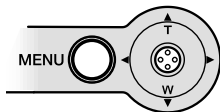
画像がありません

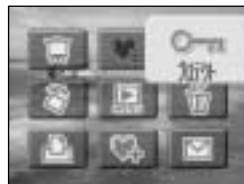
- 消去後に画像がカード内にある場合は、メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

大事な画像を残す（プロテクト、誤消去防止）

撮影した画像にプロテクトをかけ、間違って消去してしまわないようにすることができます。

1コマずつプロテクト（プロテクト解除）する

1. プロテクトしたいコマを再生させます。

2. P.70の要領で、クイックパネル→「プロテクト」を選択し、コントローラーを押します。

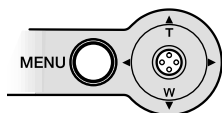
- 既にプロテクトしている画像を選んで実行すると、プロテクトが解除されます。

- プロテクトのかかった画像には、液晶モニターに 🔑 が表示されます。
- カードをフォーマット（初期化、→ P.102）すると、プロテクトのかかった画像も消去されます。

画像を残す
画像を消去する

複数の画像をプロテクト（プロテクト解除）する

メニューでは複数の画像にまとめてプロテクトを指定したり、解除することもできます。以下の4通りの方法があります。

このコマ（1コマプロテクト）：　再生中の画像1コマだけにプロテクトをかけます。
1コマだけプロテクトを取り消す場合にも使えます。
全コマ（全コマプロテクト）：　カード内の画像すべてにプロテクトをかけます。
コマを指定：　画像を指定してプロテクト（またはプロテクト解除）します。
全コマ取り消し：　カード内の画像すべてのプロテクトを取り消します。

次ページへ続く

1. P.71の要領で、クイックパネル→再生メニュー→「▶ 1」→「プロテクト」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

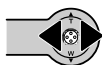
「このコマ」「全コマ」「全コマ取り消し」の場合、
メニューボタンで元の画面へ

「コマを指定」の場合
2. でコマを指定

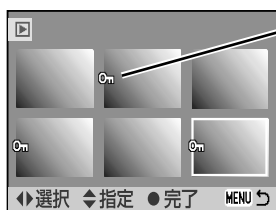
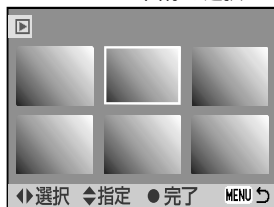
- 全コマ取り消しの場合は右の確認画面が現れます。コントローラーを左右に倒して選択後、押して実行してください。

全コマ取り消しますか？

はい　いいえ

2.「コマを指定」の場合、コントローラーでプロテクトをかける（または取り消す）コマを指定し、実行します。

左右に倒して
画像を選択

上に倒して
画像を指定

下に倒して
指定を解除

プロテクトを指定したコマには 🔑 が表示されます。必要なだけこの操作を繰り返します。

押して
指定を完了

- コントローラーを押すと、プロテクトが完了します。その後メニューボタンで元の画面に戻ります。
- コントローラーを押す代わりにメニューボタンを押すと、画像の指定が解除され、元の画面に戻ります。

お気に入り

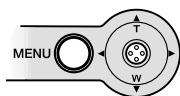
お気に入りの画像をコピーし、通常の再生画像と区別して、カード内ではなく、カメラ内のメモリに保存することで、お気に入りの画像をいつでも持ち歩くことができます。複数のカードからお気に入りの画像だけを集めるのにお使いいただけます。また、通常の再生操作では、お気に入り作成した画像は再生されないので、再生プロテクトとしてもお使いいただけます。

● お気に入り作成すると、元画像がコピー（640×480、スタンダード）され、カメラ内のメモリに保存されます。元画像はそのまま残ります。
● お気に入り画像は10枚までコピーできます。
● プロテクト（誤消去防止の設定）された画像からもお気に入り画像を作成できます。ただし、作成されたお気に入り画像にはプロテクトがかかっていません。
● 動画、メール画像はお気に入り作成できません。
● お気に入り画像はプリントできません。
● お気に入り画像はカメラ内のメモリに保存されるので、カメラからパソコンに取り込むことはできません。

お気に入りを作成する

1. お気に入り作成したいコマ（元画像）を再生させます。

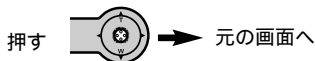
2. P.70の要領で、クイックパネル→「お気に入り作成」を選択し、コントローラーを押します。

● コントローラーを押すと、コピーがはじまります。
● コントローラーを押す代わりにメニューボタンを押すと、お気に入り作成は解除され、通常の再生画面に戻ります。

作成できません
確認

● お気に入り画像が10枚を超えてしまう場合は、左のメッセージが現れ、お気に入りは作成できません。

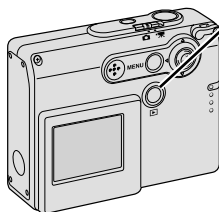
お気に入りに登録しました
確認

3. お気に入り画像の作成が完了すると、確認画面が現れます。

押す
元の画面へ

● 元画像とお気に入り画像はそれぞれ別の画像として扱われ、画像番号も変わります。

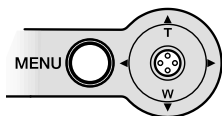
お気に入りを再生する

コピーされたお気に入り画像をカメラで再生します。

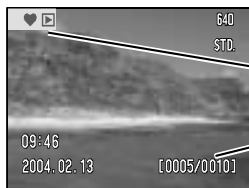
●通常の再生操作では、お気に入り画像は再生されません。

1.撮影（動画撮影）モードの状態で再生ボタンを2秒以上押します。

●クイックパネルの「お気に入り再生」が選択可能な通常再生になります。カメラの電源をOFFにするまでこの状態は保持されます。

●カメラの電源がOFFの時に再生ボタンを2秒以上押すと、すでに「お気に入り再生」可能な状態でカメラが起動します。

●再生ボタンを2秒以上押すまで「お気に入り再生」を選択することはできません。

2.クイックパネル→「お気に入り再生」を選択し、コントローラーを押します。

●最新のお気に入り画像が再生されます。

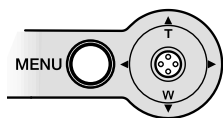
●作成したお気に入り画像がない場合は、「画像がありません」のメッセージが表示されます。

「お気に入り再生」中の表示になります。

お気に入り画像番号/お気に入り画像の枚数

●「お気に入り再生」中は、以下の機能は使えません。
メール画像作成（P.95）、DPOF（プリント）指定（P.81）、お気に入り作成（P.77）

●「お気に入り再生」中に、クイックパネルや再生メニューで、お気に入り画像の消去、スライドショー、プロテクト、回転ができます。

●お気に入り再生で、クイックパネルから再生メニューを選び、セットアップモードでカードをフォーマット(P.102)を選ぶと、カードがフォーマットされますが、お気に入り画像はされません。

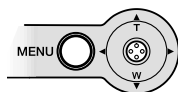
お気に入り再生から通常再生に戻る

クイックパネル→「通常再生」を選択し、コントローラーを押します。

● この操作をしなくても、お気に入り再生中にカメラの電源をOFFにしたり、撮影モードや動画撮影モードに切り替えると、次に再生モードにした時には通常再生に戻っています。

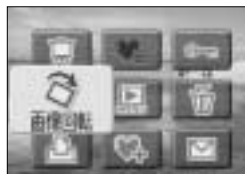
● お気に入り画像は、カメラ内のメモリに保存されるので、通常再生で全コマ消去したり、カードをフォーマット（初期化）しても消去されません。元画像は全コマ消去で、消去されます。
● お気に入り再生で全コマ消去をすると、お気に入り画像は消去されます。

画像回転

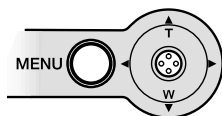
画像を回転させて表示することができます。カメラを縦にして撮影した画像などを、回転させて見やすくすることができます。
● 動画は画像回転することができません。

1. 回転させたいコマを再生させます。

2. P.70の要領で、クイックパネル→「画像回転」を選択し、コントローラーを押します。

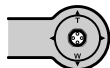
3. コントローラーを上下に倒して画像を回転させます。
● 上に倒すと時計回り、下に倒すと反時計回りに回転します。

4. コントローラーを押して、回転させた画像を通常の再生画面で再生させます。
● コントローラーを押す代わりにメニューボタンを押すと、画像の回転が解除され、再生画面に戻ります。

スライドショー（画像の自動再生）

カードに記録されている画像を、自動的に順番に表示させることができます。

●動画のスライドショー再生はできません。

1.P.70の要領で、クイックパネル→「スライドショー」を選択し、コントローラーを押します。

- スライドショーが開始されます。
- 次のコマへの切り替わり方はカメラが自動的に決定します。

スライドショー再生中の操作

●コントローラーを押すと、スライドショーの一時停止・再スタートが繰り返されます。

●スライドショー中にコントローラーを左右に倒すと、次の画像にコマ送りされます。

●お気に入り作成した画像のスライドショーを見るには、あらかじめクイックパネルで「お気に入り再生」を選択し、お気に入り画像を表示させておく必要があります（P.78)。

2.スライドショーを終えるときは、メニューボタンを押します。

画像のプリント

プリントする方法について

撮影した画像は様々な方法でプリントすることが可能です。

1. ご自分のプリンタで印刷する。

画像をパソコンに取り込んでそこから印刷できます（パソコンとの接続に関してはP.109～）。プリンタによっては、パソコンを介さずに直接カードから印刷したり、カメラとプリンタをUSBケーブルで接続するだけで印刷できるものもあります（PictBridge→ P.86～）。

2. ご購入店やカメラ店などにプリントを依頼する

カードをお店にお持ちになると、普通のフィルムと同様にプリントできます。
DPOF対応のプリント店では、DPOF（プリント）指定を利用できます。
お店によっては、フォルダ番号とファイル番号でどの画像を何枚プリントするかを指定する場合もあります。

フォルダ番号ーファイル番号

3. ネットプリントを利用する

インターネットを介してプリントの依頼をすることができます。Windowsパソコンをお持ちのかたは、付属のCD-ROMからアクセスすることができます（→ P.130）。

ここでは、より便利にプリントする方法の1つとしてDPOF（プリント）指定と、カメラとプリンタを直接USBケーブルでつないでプリントする方法（P.86）を紹介します。

DPOF（プリント）指定

DPOF（プリント）指定とは、撮影した画像をご自分のプリンタでプリントする場合や、プリント店にプリントを依頼する際に、あらかじめどの画像を何枚プリントするかをカメラで指定しておくことです。

● プリンタやプリント店がDPOF*に対応している必要があります。

*DPOF＝ ディーポフ、Digital Print Order Formatの略。撮影した画像の中から、プリントしたいコマや枚数等の指定情報を記録メディアに記録するフォーマットのこと。

次ページへ続く

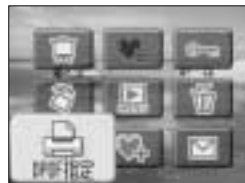
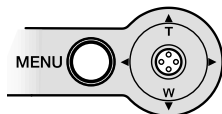
●他のデジタルカメラでDPOF（プリント）設定したカードをこのカメラに入れると、他のカメラでの設定はキャンセルされます。

●DPOF（プリント）指定された画像には、液晶モニターに🖶が表示されます。
🖶のみで数字がなければ、DPOF（プリント）指定枚数は1枚です。
🖶の横に数字があれば、その枚数分DPOF（プリント）指定されています（左図の例では 3枚）。

●全コマ指定後に撮影した画像は、DPOF（プリント）指定されていません。

1コマずつDPOF（プリント）指定する

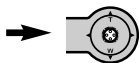
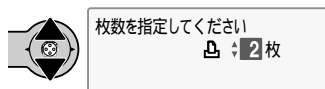
1.DPOF（プリント）指定したいコマを再生させます。

2.P.70の要領で、クイックパネル→「DPOF指定」を選択し、コントローラーを押します。

3.コントローラーで希望の枚数を選び、決定します。

●最大9枚まで指定できます。

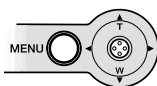
上下に倒して枚数を選択

枚数を指定してください
🖶 ↕2枚

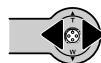
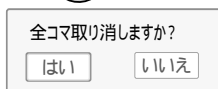
押して決定

複数の画像をDPOF（プリント）指定する

メニューではどの画像を何枚プリントするかを指定することができます。以下の3通りの指定方法があります。

このコマ（1コマ指定）　：再生中の画像を1コマだけDPOF（プリント）指定します。
1コマだけDPOF（プリント）指定を取り消す場合にも使えます。
全コマ（全コマ指定）　：カード内の画像すべてをDPOF（プリント）指定します。
コマを指定　：指定した画像だけをDPOF（プリント）指定します。
全コマ取り消し　：カード内の画像すべてのプDPOF（プリント）指定を取り消します。

●動画のDPOF（プリント）指定はできません。

1. P.71の要領で、クイックパネル→再生メニュー→「▶1」→「DPOF指定」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

「このコマ」「全コマ」の場合→2. に進んで枚数を指定

「コマを指定」の場合→3. に進んでコマと枚数を指定　（→ 次ページ）

2.「このコマ」「全コマ」の場合、コントローラーで希望の枚数を選び、決定します。

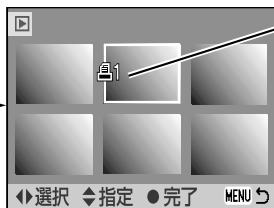
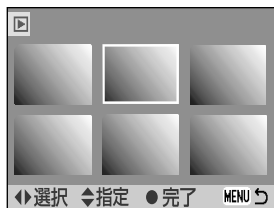
●このコマ（1コマ指定）の場合、現在表示中のコマのプリント枚数を選ぶことができます（0～9枚）。
●全コマ（全コマ指定）の場合、全コマとも同じプリント枚数しか選べません（0～9枚）。

上下に倒して枚数を選択　押して決定　メニューボタンで元の画面へ

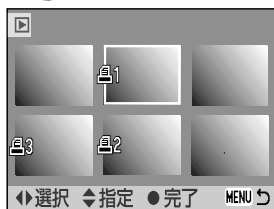
次ページへ続く

3.「コマを指定」の場合、コントローラーでDPOF（プリント）指定するコマを選んで枚数を選択し、決定します。

左右に倒して
画像を選択

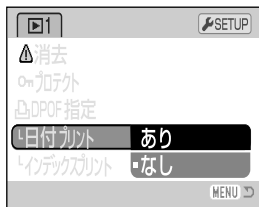
上下に倒して
枚数を選択

DPOF（プリント）指定したコマには 🖶 が表示されます。必要なだけこの操作を繰り返します。

● 表示がない場合はプリントされません。
● コマの右側に、動画 🎥（P.68）のアイコンがある場合は、DPOF（プリント）指定できません。

押して
指定を完了

● コントローラーを押すと、DPOF（プリント）指定が完了します。その後メニューボタンで元の画面に戻ります。
● コントローラーを押す代わりにメニューボタンを押すと、画像の指定が解除され、元の画面に戻ります。

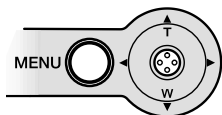
日付プリント

プリントする際に、プリンタで日付（年/月/日）を印字する指示をカメラで行うことができます。日付の入る場所（画面内／画面外、サイズ等）はお使いのプリンタによって異なります。

● プリンタによっては、この機能に対応していないものもあります。
● 画面内右下への日付写し込み（P.61）とは別なので、重ならないようにしてください。

P.71の要領で、クイックパネル→再生メニュー→「▶1」→「日付プリント」から「あり」を選択し、コントローラーを押します。

インデックスプリント

カードに記録されているすべての画像を一覧表示用としてまとめてプリントすることができます（インデックスプリント）。DPOF（プリント）指定では、1コマずつのプリントと合わせて、このインデックスプリントの有無を指定できます。初期設定ではインデックスプリントはされません。

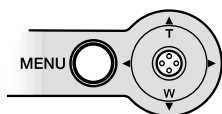
- 1枚のプリントに印刷される画像の数や印刷内容は、プリンタによって異なります。
- インデックスプリント設定後に撮影した画像は、インデックスプリントには含まれません。プリントの直前に作成されることをおすすめします。

P.71の要領で、クイックパネル→再生メニュー→「▶1」→「インデックスプリント」から「作成する」を選択し、コントローラーを押します。

PictBridge対応プリンタでの印刷

PictBridge*（ピクトブリッジ）対応のプリンタをお使いの場合、カメラとプリンタを直接USBケーブルで接続してプリントを行うことができます。パソコンを使わないので、手軽にプリントが楽しめます。

* PictBridge=デジタルカメラで撮影した画像を、パソコンを使わずに印刷するための規格。これに対応しているカメラとプリンタであれば、メーカーを問わず、カメラから直接印刷することが可能。

- 画像を見ながら直接プリント設定を行う場合（P. 88）や一括枚数指定を行う場合（P.91）、印刷指定できる画像の数は、最高50コマです。
- 動画の印刷はできません。（プリンタと接続しても表示されません。）
- プリントの途中でカメラの電池が無くなると印刷は中断されます。新品電池かフル充電した電池、または、別売りのACアダプタ ーAC-12の使用をおすすめします。

USB接続の変更

P.98の要領で、クイックパネル→再生/撮影メニュー→セットアップメニュー「3」→「USB接続」から「PictBridge」を選択してください。

カメラとプリンタの接続

1.プリンタの電源を入れます。

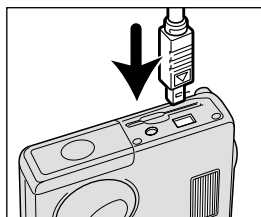
2.プリンタ側で用紙設定などを行う場合は、プリンタの設定を行います。

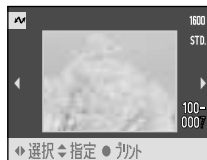
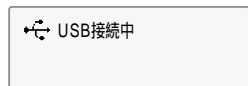
- 詳しい設定方法については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 日付写し込み（P.61）付きの画像をプリントしたり、DPOF指定での日付プリント（P.84）を設定している場合は、プリンタ側で日付写し込み設定を行うと、日付情報が重なる場合があります。

3.カメラにカードを入れ、メインスイッチを押して電源を入れます。

- カメラは、どのモードでも構いません。

4.付属のUSBケーブルの大きいほうのコネクタを、プリンタのUSBポートに差し込みます。

● プリンタ内蔵のポートに直接つないでください。USBハブを経由して接続すると正常に動作しない場合があります。

5.付属のUSBケーブルの小さいほうのコネクタを、カメラのUSB出力端子に差し込みます。

● 奥まで確実に差し込んでください。
●「USB接続中」のメッセージが現れた後、PictBridgeの画面になります。

プリント方法

以下の３通りのプリント設定方法が可能です。

［1］画像を見ながら直接プリントを行う　**→次ページ**

画像を確認しながら枚数をきめる場合に便利です。

［2］メニュー画面によりプリント設定を行う　**→P.90**

すべての画像を同一枚数プリントする場合に便利です。インデックスプリントも指定できます。また、用紙設定など各種プリント設定も、このメニュー画面で行います。

［3］DPOF（プリント）指定を使用する　**→P.94**

あらかじめカメラでプリントする画像を指定しておく場合に便利です。

次ページへ続く

［1］画像を見ながら直接プリント設定を行う

カメラとプリンタを接続すると、以下の画面が現れます。この画面でそのままプリント設定を行うことができます。画像を確認しながら、それぞれの枚数を決める場合に便利です。

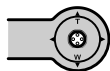
1.コントローラーでプリントする画像と各コマの枚数を指定します。

● その画像を1枚だけプリントする場合は、プリントする画面を選んだ後、枚数を指定せずに、直接、3の操作で、コントローラーを押してください。

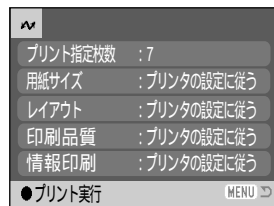
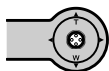
左右に倒して
画像を選択

上下に倒して枚数を指定。
上に倒すと枚数が増え、下に倒すと枚数が減ります。
1コマあたり20枚まで設定ができます。

2.必要なだけ、1の操作を行います。

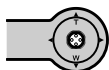
他の画像に移動すると、それまでのプリント合計枚数が表示されます。

3.コントローラーを押します。

右のプリント確認画面が表示されます。
※用紙サイズ等を変更するには→P.93

● 選択した画像の数が50コマを超えると、「画像が多すぎます。50コマまでに指定し直してください。」のメッセージが現れ、前の画面に戻ります。指定する画像の数を50コマ以下に減らしてください。

4.確認後、再度コントローラーを押します。

● プリントが始まります。

プリント中
●で中止

● プリント中は左の画面が表示されます。

5.右の画面が現れたら、コントローラーを押してプリントを終了させます。

プリントが終了しました
確認

● カメラを取り外す場合は、カメラとプリンタの電源を切ってUSBケーブルを外してください。

プリンタを確認してください
●で中止

● 左のメッセージが現れた場合は、プリンタ側の問題（用紙切れなど）によりプリントできません。コントローラーを押していったんプリントを中止してください。

プリントを中止しました

● プリント中や上記エラーメッセージ表示中にコントローラーを押すと、プリントは途中で中止されます。USBケーブルを外すか、カメラの電源を切ってください。再度プリントする場合は、再度前ページの手順にしたがってプリントを行ってください。

[2] メニュー画面によりプリント設定を行う

カメラとプリンタを接続後、以下のメニュー設定が可能です。P.71の再生メニューと同じ要領で、メニューボタンとコントローラーを使って設定します。

MENU

1

項目	設定
一括枚数指定 P.91	全コマ 全コマ取り消し
インデックスプリント P.92	実行する

3

項目	設定
DPOFプリント P.94	実行する

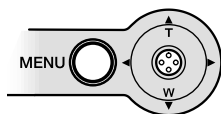
◎は初期設定値です。

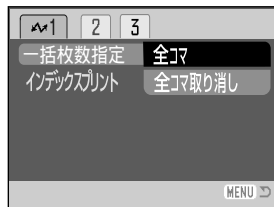
2

項目	設定
用紙サイズ P.93	◎プリンタの設定に従う L はがき 2L A4
種類 P.93	◎1 2 3
レイアウト P.93	◎プリンタの設定に従う フチなし1コマ/1枚 1コマ/1枚 2コマ/1枚 4コマ/1枚
印刷品質 P.93	◎プリンタの設定に従う FINE
情報印刷 P.93	◎プリンタの設定に従う なし 日付 ファイル名 日付＋ファイル名

一括枚数指定・全コマプリント

カード内のすべての静止画を同一枚数プリントします。

- カード内に静止画像が51コマ以上ある場合、一括枚数指定をしても一度に印刷はできません。画像の数が50コマ以内になるよう、画像を見ながらプリント設定をしてください。(→P.88)。

1. メニューボタンを押し、コントローラーを上下左右に倒して「1」→「一括枚数指定」から「全コマ」を選択し、コントローラーを押します。

- 静止画全コマがプリント指定されます。

2. コントローラーで枚数を選択し、決定します。

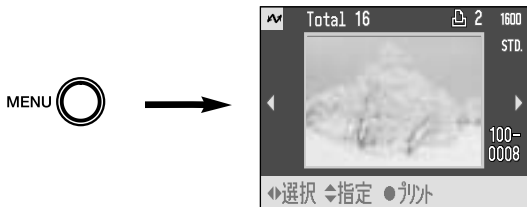
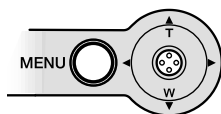
- 全コマとも同じプリント枚数しか選べません。(1〜20枚)
- 上に倒すと枚数が増え、下に倒すと枚数が減ります。

コントローラーを
上に倒して枚数を選択

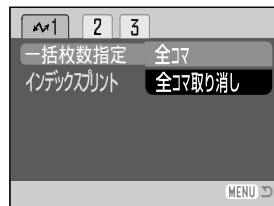
プリント指定枚数 2 枚

押して決定

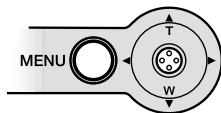
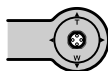
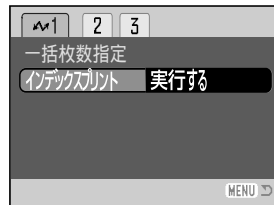
3. メニューボタンを押して、元の画面に戻ります。

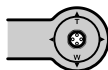
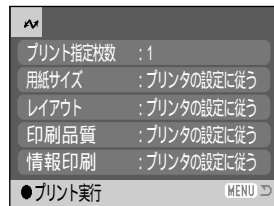
- 一度一括枚数指定をした後、P.88の1.、2.の要領で、一部のプリント枚数を変更することができます。ほとんどすべての画像を1枚ずつプリントするが一部は印刷しない、などの場合に便利です。

4. P.88の3〜5の要領で、コントローラーを押してプリントします。

全コマ取り消し

メニューボタンを押し、コントローラーを上下左右に倒して「1」→「一括枚数指定」から「全コマ取り消し」を選択し、コントローラーを押します。

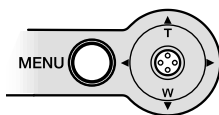
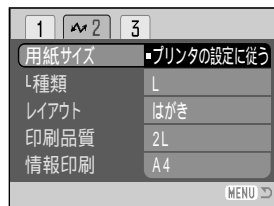
● 全コマの指定が取り消されます。

インデックスプリント

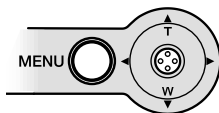
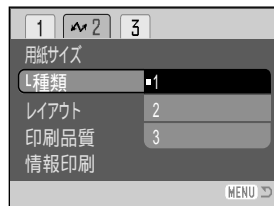
カード内のすべての画像をまとめて印刷（インデックスプリント）します。

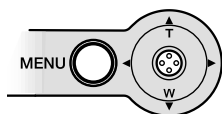
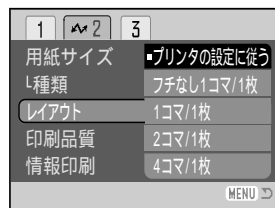
● 1枚の用紙にプリントされる画像の数や、印刷内容は、お使いのプリンタによって異なります。

1. メニューボタンを押し、コントローラーを上下左右に倒して「1」→「インデックスプリント」から「実行する」を選択し、コントローラーを押します。

2. 右のプリント確認画面が現れたら、確認後、コントローラーを押します。

● プリントが始まります。

3.「プリントが終了しました」のメッセージが現れたら、コントローラーを押してプリントを終了させます。

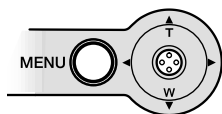
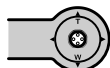
用紙サイズ

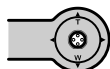
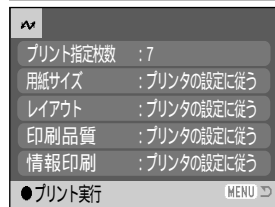
用紙サイズを設定します。

メニューボタンを押し、コントローラーを上下左右に倒して「〜 2」→「用紙サイズ」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

用紙サイズの種類

種類「1」では、主に日本国内で使用される用紙サイズが選べます。海外で一般的な用紙サイズを選ぶこともできます。2はヨーロッパ、3は北米で一般的な用紙サイズです。

メニューボタンを押し、コントローラーを上下左右に倒して「〜 2」→「種類」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

用紙サイズ	種類			大きさ
	1	2	3	
プリンタの設定に従う	○	○	○	
L	○			89 x 127mm
はがき	○			100 x 148mm
2L	○	○		127 x 178mm
A4	○	○		210 x 297mm
Card size		○	○	54 x 85.6mm
100mm x 150mm		○		100 x 150mm
4" x 6"			○	101.6 x 152.4mm
8" x 10"			○	203.2 x 254mm
Letter			○	216 x 279.4mm

レイアウト、印刷画質、情報印刷

メニューボタンを押し、コントローラーを上下左右に倒して「 2」から希望の項目と設定を選択し、コントローラーを押します。

[3] DPOF（プリント指定を使用する）

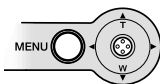
DPOF（プリント）指定した画像と枚数（P.81)をプリントします。カメラとプリンタを接続する前に、あらかじめ画像と枚数を決めてカメラ側で設定しておく場合に便利です。

- DPOF（プリント）指定で、インデックスプリント（→ P.85）を「作成する」にした場合は、プリント指定枚数は1枚多く表示されます。
- DPOF（プリント）に対応していないプリンタを接続した時は、メニューがグレーダウンして選べません。

1. メニューボタンを押し、コントローラーを上下左右に倒して「 3」→「DPOFプリント」→「実行する」を選びます。

2. 右のプリント確認画面が現れたら、確認後、コントローラーを押します。

- プリントが始まります。

3.「プリントが終了しました」のメッセージが現れたら、コントローラーを押してプリントを終了させます。

メール画像作成

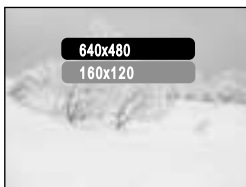
カードに記録された画像から、Eメール添付に適した画像（画像サイズ640×480、または、160×120のスタンダード画像）を作成することができます。元の画像はそのまま残ります。

- すでに作成済のメール画像のファイル、動画からは、メール画像は作成できません。
- プロテクト（誤消去防止の設定）された画像からもメール画像を作成できます。ただし、作成されたメール画像にはプロテクトがかかっていません。

1. メール画像作成したいコマ（元画像）を再生させます。

2. P.70の要領で、クイックパネル→「メール画像作成」を選択し、コントローラーを押します。

3. コントローラーで、画像サイズを選択し、実行します。

上下に倒して
設定を選択

640×480: パソコンなどでのEメールに画像を添付する場合に便利です。
160×120: 携帯電話などのメールに画像を添付する場合に便利です。

- 保存したフォルダ名の確認画面が現れます。
保存するフォルダ名について→P.96、121

- メール画像として作成された画像には、再生時、液晶モニターに ✉ が表示されます。

- 右のメッセージが現れた場合は、作成される画像がカードの容量を超えているので、メール画像を作成することができません。

作成できません

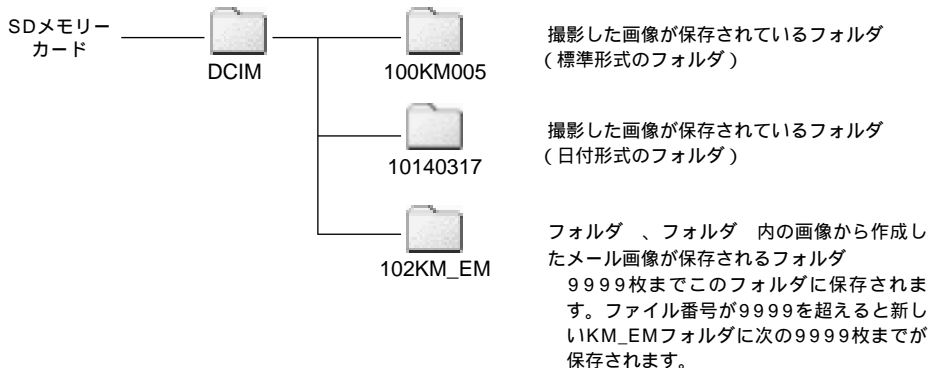
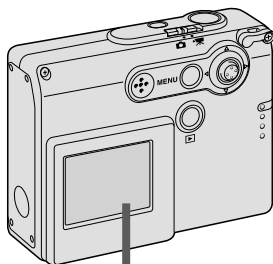
メール用画像の保存されるフォルダ

- 作成されたメール画像は、カード内に作られる“ **KM_EM** ”という名前のフォルダにまとめて保存されます（KM=Konica Minolta、EM=E-mail の意味）。
- 元画像とEメール用に作成された画像とはそれぞれ別のファイルとして扱われ、ファイル番号も変わります。たとえば、ある元画像を消去しても、それから作成されたメール画像は消去されずに残っています。

← 撮影した画像が保存されているフォルダ①
（標準形式のフォルダ）

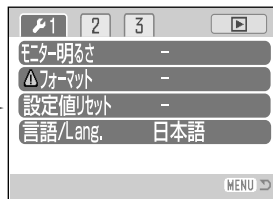
← 撮影した画像が保存されているフォルダ②
（日付形式のフォルダ）

← **フォルダ①、フォルダ②内の画像から作成したメール画像が保存されるフォルダ**

- 9999枚までこのフォルダに保存されます。ファイル番号が9999を超えると新しいKM_EMフォルダに次の9999枚までが保存されます。

セットアップメニュー

撮影メニューまたは再生メニュー画面の右上にあるSETUPのアイコンを選ぶと、セットアップメニューの画面になります。

- 動画撮影モードのクイックパネルにあるSETUPを選ぶと、同様にセットアップメニュー画面になります。

セットアップメニュー画面

カメラ全体の操作に関わる設定を変更することができます。

セットアップメニュー

設定方法

撮影、再生、動画撮影のどのモードからでもセットアップメニューを表示させることができます。

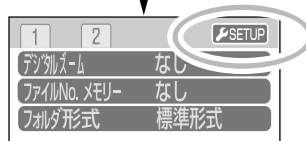
1.メニューボタンを押します。

● カメラは、撮影、動画、再生、どのモードでもかまいません。

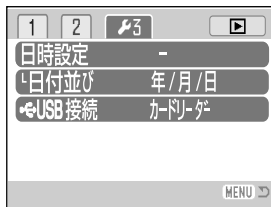
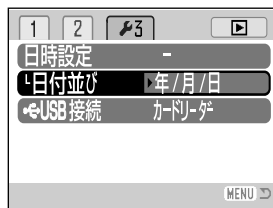
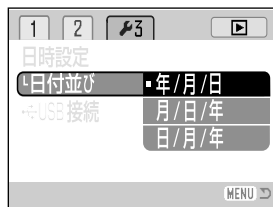
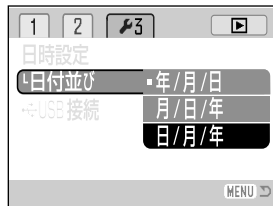
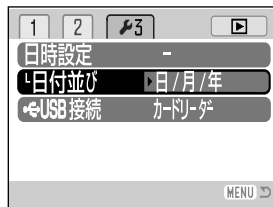
2.クイックパネルで「MENU」（動画の場合はSET UP）が選ばれている状態で、コントローラーを押します。

撮影、再生メニューから表示した場合→このまま3.へ

動画撮影メニューから表示した場合→4.へ

3.撮影または再生メニューが表示されます。コントローラーを左右に倒して、SETUP タブを選び、コントローラーを押します。

4.セットアップメニューが表示されます。コントローラーを左右に倒して「1」「2」「3」のいずれかを選びます。

● 設定中にメニューボタンを押すと、設定が中断され、元のモード（再生または撮影画面）に戻ります。

● 撮影または再生モードのいずれかのアイコンを選んでコントローラーを押すと、それぞれのモードのメニュー画面に戻ります。

5.コントローラーを上下に倒して、希望の項目を選びます。

6.コントローラーを右に倒して、設定の内容を表示させます。

7.コントローラーを上下に倒して、希望の設定を選びます。

8.コントローラーを押して、設定を決定します。

セットアップメニュー

● メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。メニューボタンを押さずに撮影または再生モードのいずれかのアイコンを選んでコントローラーを押すと、元の撮影または再生メニューに戻ります。

設定内容

◎は初期設定です。

セットアップメニューで、以下の設定が変更できます。

1

項目	設定
モニター明るさ P.101	実行する
フォーマット P.102	実行する
設定値リセット P.103	実行する
言語／Lang. P.105	◎日本語 English Deutsch Français Español 中文

3

項目	設定
日時設定 P.107	実行する
└日付並び P.108	◎年/月/日 月/日/年 日/月/年
USB接続 P.108	◎カードリーダー PictBridge

2

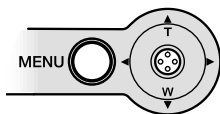
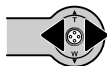
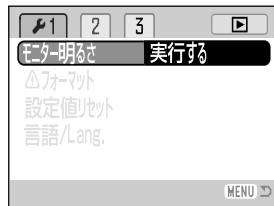
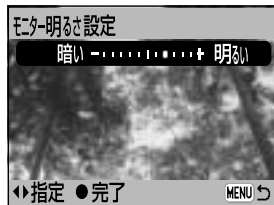
項目	設定
操作音 P.106	◎音1 音2 なし
AF音 P.106	◎音1 音2 なし
シャッター音 P.106	◎あり なし
オートパワーオフ P.106	30分 10分 5分 ◎3分 1分

撮影メニューへ

再生メニューへ

● セットアップメニューでの設定は、カメラの電源を切ったり、モードを切り替えても保存されています。

液晶モニターの明るさ調整

液晶モニターの明るさを調整できます。

1. P.98の要領で、クイックパネル→(撮影/再生メニュー)→セットアップメニュー→「 1」→「モニター明るさ」から「実行する」を選び、コントローラーを押します。

2. コントローラーを左右に倒して明るさを調整します。

3. コントローラーを押します。

●元の画面に戻ります。

●液晶モニターの明るさを変えても、撮影される画像の明るさは変わりません。画像そのものの明るさを変える場合は、露出補正をお使いください。→ P.50

モニター明るさ調整

カードの初期化（フォーマット）

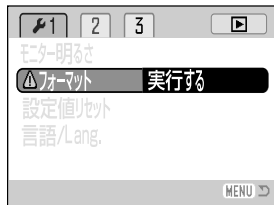
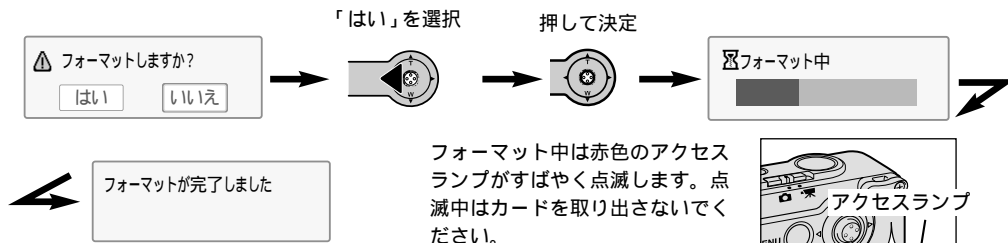
カード内の画像やフォルダをすべて消去するときには、カードのフォーマットが便利です。

フォーマットを行なうと、プロテクトをかけた画像も含めてカード内のすべての画像が消去されます。

1.フォーマットするカードをカメラに入れます。

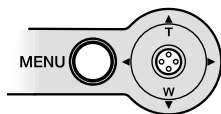
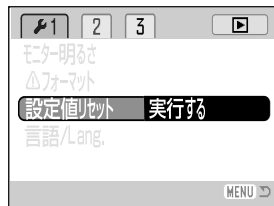
2.P.98の要領で、クイックパネル→(撮影/再生メニュー）→セットアップメニュー→「🔧1」→「フォーマット」から「実行する」を選び、コントローラーを押します。

3.コントローラーで、「はい」を選択し、実行します。

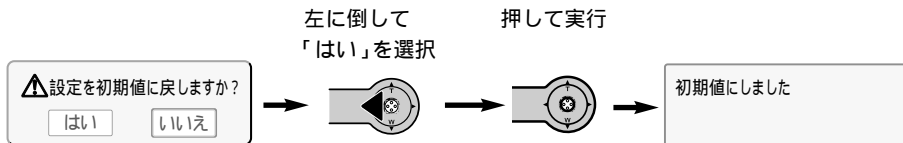
●フォーマット中は赤色のアクセスランプがすばやく点滅します。点滅中はカードを取り出さないでください。

●お気に入り画像は、カードではなく、カメラ内のメモリに保存されるため、フォーマットを行っても消去されません。

●カードのフォーマットは、このページの要領でカメラ側で行ってください。**パソコンでカードのフォーマットを行うと、カメラでカードが認識できないことがあります。**カメラ以外でフォーマットした場合は、撮影する前にカメラで再フォーマットしてください。

設定値リセット

カメラのほとんどの設定を、お買い上げ時の初期設定に戻すことができます。

1. P.98の要領で、クイックパネル→（撮影/再生メニュー）→セットアップメニュー→「🔧1」→「設定値リセット」から「実行する」を選び、コントローラーを押します。

2. コントローラーで、「はい」を選択し、実行します。

設定値リセット
フォーマット

次ページへ続く

設定値リセット（続き）

リセットされる内容は以下の通りです。

撮影モード

項目	設定	ﾍﾟｰｼﾞ
フラッシュモード	自動発光	40
ドライブモード	1コマ撮影	43
画質	1600x1200 スタンダード	46
露出補正	±0.0	50
ポートレート	OFF	52
ホワイトバランス	AUTO	49
カラーモード	カラー	51
コントローラーカスタマイズ	なし	58

項目	設定	ﾍﾟｰｼﾞ
オートリセット	あり	60
画面表示	表示あり	31
日付写し込み	なし	61
デジタルズーム	なし	62
合成撮影	なし	53
ファイルNo.メモリー	なし	63
フォルダ形式	標準形式	64

再生モード

項目	設定	ﾍﾟｰｼﾞ
画面表示	表示あり	32

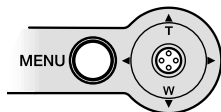
動画撮影

項目	設定	ﾍﾟｰｼﾞ
画像サイズ	320×240	67
ホワイトバランス	AUTO	67
カラーモード	カラー	67
露出補正	±0.0	67

セットアップメニュー

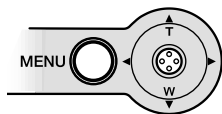
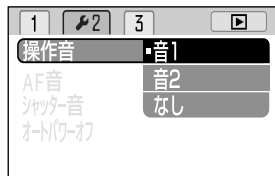
項目	設定	ﾍﾟｰｼﾞ
モニター明るさ	標準	101
操作音	音1	106
AF音	音1	106
シャッター音	あり	106
オートパワーオフ	3分	106
USB接続	カードリーダー	108

言語設定

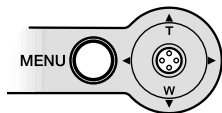
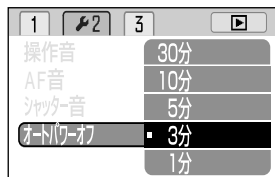
メニューの表示言語を、6カ国語の中から選ぶことができます。

P.98の要領で、クイックパネル→(撮影/再生メニュー)→セットアップメニュー→「1」→「言語/Lang.」から希望の言語を選び、コントローラーを押します。

●選べる言語は以下の通りです。
- 日本語
- 英語（**English**）
- ドイツ語（**Deutsch**）
- フランス語（**Français**）
- スペイン語（**Español**）
- 中国語（中文）

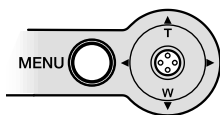
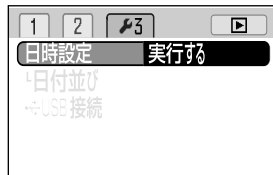
操作音、AF音、シャッター音の設定

カメラを操作するとブザー音が出ます。音が出ないようにしたり音を変えたりすることができます。

P.98の要領で、クイックパネル→(撮影/再生メニュー）→セットアップメニュー→「2」から希望の項目と設定を選択し、コントローラーを押します。

操作音	コントローラーを動かす、ボタンを押すなど、カメラを操作したときに出るブザー音	音1
		音2
		なし（操作音は出ません）
AF音	ピントがあったときに出るブザー音	音1
		音2
		なし（AF音は出ません）
シャッター音	シャッターを切ったときに出るブザー音	あり
		なし

オートパワーオフ

一定時間何も操作をしないでいると、節電のため自動的に電源が切れ、液晶モニターの表示が消灯します（オートパワーオフ）。このオートパワーオフまでの時間を、1分、3分、5分、10分、30分のいずれかに変更することができます。

P.98の要領で、クイックパネル→(撮影/再生メニュー）→セットアップメニュー→「2」→「オートパワーオフ」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

● オートパワーオフ後に操作を再開したいときは、メインスイッチを押してカメラの電源を入れてください。

日時設定

日時の修正が必要な場合は、以下の手順で行ってください。

1. P.98の要領で、クイックパネル→（撮影/再生メニュー）→セットアップメニュー→「🔧3」→「日時設定」から「実行する」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーで日付と時刻を設定します。

左右に倒して
項目を選択

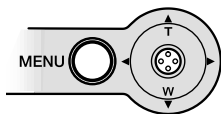
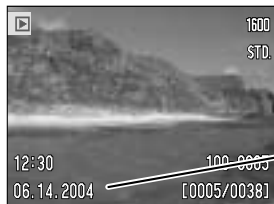
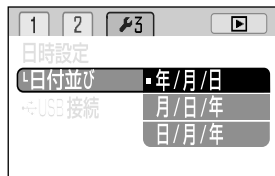
上下に倒して
数値を設定

必要なだけこの操作を繰り返します。

- コントローラーを倒したまま保持すると、数値が早送りされます。
- メニューボタンを押すと、設定した数値はキャンセルされ、元の画面に戻ります。

3. コントローラーを押すと、時計がスタートします。

日付並び

「年月日」の並び順を、「月日年」または「日月年」に変えることができます。

P.98の要領で、クイックパネル→(撮影/再生メニュー)→セットアップメニュー→「 3」→「日付並び」から希望の並び方を選択し、コントローラーを押します。

● ここでの設定は、再生画面に表示される撮影日や、日付写し込み「あり」で写し込まれる日付の並び順にも反映されます。

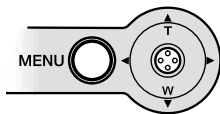
撮影日の並び順が月日年になっています
(上図の設定の場合)

※日付・時刻の設定(修正)のしかたは → P.107

USB接続

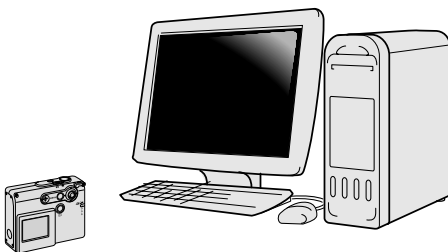
USB接続時のカメラの動作モードを設定します。

カードリーダー ： カメラはカードリーダーとして動作します。カメラとパソコンを接続してカード内の画像をパソコンに取り込む場合は「カードリーダー」にします。

PictBridge ： 撮影した画像をPictBridge対応のプリンタで印刷する場合に使用します。
※PictBridge対応のプリンタでの印刷方法について→ P.86

P.98の要領で、クイックパネル→(撮影/再生メニュー)→セットアップメニュー→「 3」→「USB接続」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

パソコンへの接続

パソコンをお持ちの場合、撮影した画像をパソコンに取り込み、保存や整理を行なうことができます。

● カメラとパソコンを接続して画像をパソコンに取り込む場合は、セットアップメニューの「🔧3」の「USB接続」の設定を「カードリーダー」にしてください。
→ 前ページ参照

USB接続の動作環境

以下のパーソナルコンピュータ（以下パソコン）をお持ちの場合、付属のUSBケーブルでカメラをパソコンに接続して、画像をパソコンに取り込むことが可能です（USBマスストレージ対応）。

コンピュータ	IBM PC/AT互換機	Apple Macintosh
OS	Windows®XP（Home／Professional)、Windows®Me、Windows®2000 Professional、Windows®98/98 Second Edition がインストール済み	Mac OS 9.0〜9.2.2、Mac OS X v10.1.3〜10.1.5、v10.2.1〜10.2.8、v10.3〜10.3.1 がインストール済み
その他	USBポート標準装備	USBポート標準装備

- ご使用のOSの環境において、USBポートがパソコンメーカーに動作保証されていることが必要です。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。
- 同時に使われるUSB機器によっては、正常に動作しない場合があります。
- USBポートは内蔵のみをサポートします。ハブ接続した場合は正常に動作しない場合があります。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

最新の動作環境情報(互換性情報)については、弊社ホームページをご覧いただくが、裏面記載の弊社お客様フォトサポートセンターにお問い合わせください。ホームページの場合は、以下のサイトから互換性情報をご覧ください。
http://ca.konicaminolta.jp/

お持ちのパソコンにより、画像を表示させる方法は異なります。

Windows®XP、Me、2000 Professional の場合

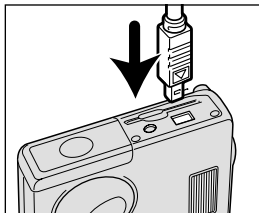
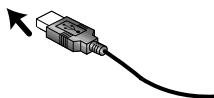
付属のUSBケーブルで、そのままカメラとパソコンを接続してお使いになれます。→ P.112
静止画は、一般的な画像表示ソフトで開けることができます。お持ちでない場合は、付属のCD-ROMより画像表示ソフトDiMAGE ビューアーをインストールしてお使いください。
動画の再生にはQuickTime等の動画再生ソフトが必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMよりインストールしてください。→ P.128

Windows®98/98 Second Edition の場合

付属のCD-ROMから、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。→ P.122
その後付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続してお使いください。→ P.112
静止画は、一般的な画像表示ソフトで開けることができます。お持ちでない場合は、付属のCD-ROMより画像表示ソフトDiMAGEビューアーをインストールしてお使いください。
動画の再生にはQuickTime等の動画再生ソフトが必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMよりインストールしてください。→ P.128

Macintoshの場合

付属のUSBケーブルで、そのままカメラとパソコンを接続してお使いになれます。→ P.112
静止画は、一般的な画像表示ソフトで開けることができます。お持ちでない場合は、付属のCD-ROMより画像表示ソフトDiMAGEビューアーをインストールしてお使いください。
動画再生用のQuickTimeは通常はインストール済みですので、そのまま動画を再生することができます。

パソコンへ接続する（USB接続）

1.パソコンの電源を入れます。

2.カメラにカードを入れ、メインスイッチを押して電源を入れます。

3.USBケーブルの大きいほうのコネクタを、パソコン本体のUSBポートに差し込みます。

● 奥まで確実に差し込んでください。

4.付属のUSBケーブルの小さい方のコネクタをUSB端子に差し込みます。

● 奥まで確実に差し込んでください。
● USB接続は、接続する際にはカメラやパソコンの電源を入れたまま行なうことができますが、取り外す際にはP.118の指示にしたがってください。

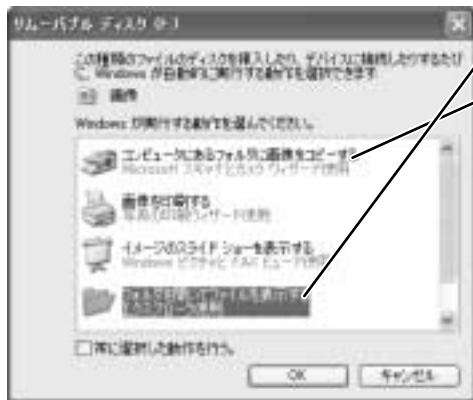
● USB接続中は、液晶モニター左上に が表示されます。
● USB接続中のメッセージが消えない場合は、USBケーブルが確実に差し込まれているか再度ご確認ください。

● USB接続中は、カメラを約10分間程度操作しないでいると自動的にカメラがOFFになります（OSによっては「デバイスを停止させないで取り外しました」等のメッセージが現れます）。接続後はすみやかに画像のコピー等の操作を行なってください。コピー等データの交信中は自動的にカメラがOFFになることはありません。また必要な画像をパソコンに取り込んだ後は、USB接続を解除されることをおすすめします。→P.118
● Windows 98／98SE使用時に、接続後［新しいハードウェアの追加ウィザード］の画面で止まった場合は、ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。→ドライバをインストールしていない場合はP.122へ、すでにしている場合はP.125へ

パソコンに画像ファイルをコピー・保存する

画像ファイル（動画ファイルも含む）を、パソコンにコピーして保存します。

- カメラをパソコンに接続して作業を行なう場合は、カメラの電池容量に注意してください。データ交信中に電池がなくなると、パソコンのエラーやカード内の画像データ破損の原因となります。別売りのACアダプター AC-12の使用をおすすめします。
- カメラとパソコンを接続しているとき、特にデータの交信中（アクセスランプ点灯中）には、カメラのメインスイッチを切る、USBケーブルを取り外す、カードや電池を取り出すといった操作は行なわないでください。パソコンのエラーや、カード内の画像データ破損の原因となります。
- カードのフォーマットは、原則としてカメラ側で行なうことをおすすめします（P.102）。パソコンでカードのフォーマットを行なうと、カメラ側でカードを認識しないことがあります。
- パソコンでカード内の画像データのファイル名を変更したり、カメラによる画像データ以外のデータを書き込んだりしないでください。カメラで再生できないだけでなく、カメラの機能に支障をきたすことがあります。

WindowsXPの場合

1. [フォルダを開いてファイルを表示する] を選び、[OK] をクリックします。

- [コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする] でも可能です。その場合はメッセージに従って操作を進めてください。詳しくは各パソコンメーカーにお問い合わせください。
- パソコンの設定によっては、この画面が現れないことがあります。その場合は、画面左下の［スタート］→［マイ コンピュータ］→［リムーバブルディスク］を開いてください。[リムーバブルディスク] が見つからない場合は、パソコンを再起動してください。

次ページへ続く

2. [DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。

- リムーバブルディスクのドライブ名（左図の例ではF）は、ご使用のパソコンによって異なります。
- [DCIM] 以外のフォルダ（[MISC] 等）は削除しないでください。

3. [100KM005] 等のフォルダをダブルクリックして開きます。

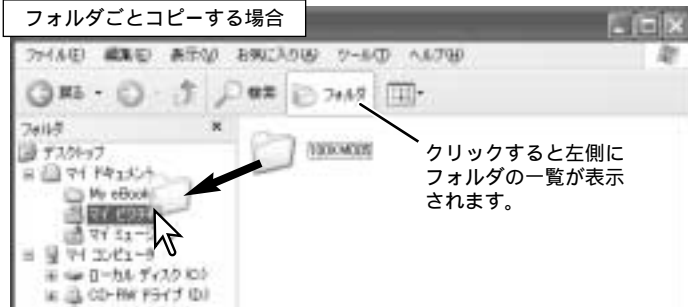
- フォルダ名の初期設定は [100KM005] です。カメラの設定を変更したりすると、名前が変わったり複数表示されたりすることがあります。※フォルダの詳細は →P.121

フォルダを開けると、[PICT0001] 等の画像ファイルが表示されます。

- お使いのパソコンの設定により、[PICT0001] [PICT0001.JPG] など、拡張子（この場合は ".JPG"）が付く場合と付かない場合があります。※ファイルの詳細は →P.63

4. 保存したいフォルダまたはファイルを、パソコンにコピーします。

- フォルダごとコピーする場合は、[100KM005] 等のフォルダごと、[マイ ドキュメント] [マイ ピクチャ] 等にコピーします。

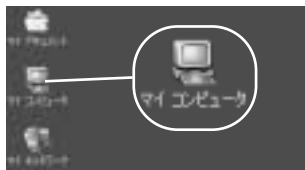
フォルダごとコピーする場合

[100KM005] を [マイ ピクチャ] にコピーする例

ファイルごとにコピーする場合

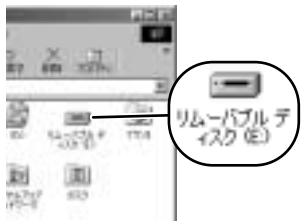
［PICT0001.JPG］を［マイ ピクチャ］にコピーする例

●画像の見え方は、パソコンの設定によって異なります。

●コピー先のフォルダに同じ名前のファイルが存在すると、元の画像を上書きしてもいいか確認するメッセージが表示されます。上書きしない場合は、あらかじめコピー先のファイル名を変更しておくか、別のフォルダにコピーしてください。

Windows2000, Me, 98, 98SEの場合

1.デスクトップ上の「マイ コンピュータ」をダブルクリックして開きます。

●カメラ内のカードが、「リムーバブルディスク」として現れます。（ドライブ名（左下の例ではE）は、ご使用のパソコンによって異なります。）現れない場合は、パソコンを再起動してください。

※それでも「リムーバブルディスク」が現れない場合は →P.125

2.「リムーバブルディスク」をダブルクリックして開きます。

●「DCIM」フォルダが現れます。

次ページへ続く

DCIM

3.［DCIM］フォルダをダブルクリックして開きます。

● その他のフォルダ（［MISC］等）は削除しないでください。

100KM005

4.［100KM005］等のフォルダをダブルクリックして開きます。

● フォルダ名の初期設定は［100KM005］です。カメラの設定を変更したりすると、名前が変わったり複数表示されたりすることがあります。※フォルダの詳細は →P.121

フォルダを開けると、［PICT0001］等の画像ファイルが表示されます。

● お使いのパソコンの設定により、［PICT0001］［PICT0001.JPG］など、拡張子（この場合は".JPG"）が付く場合と付かない場合があります。※ファイルの詳細は →P.63

5.保存したいフォルダまたはファイルを、パソコンにコピーします。

［100KM005］
［PICT0001.JPG］を
［マイ ドキュメント］
にコピーする例

● 同じ名前のファイルをパソコン上の同じフォルダにコピーすると、元の画像を上書きしてもいいか確認するメッセージが表示されます。上書きしない場合は、あらかじめパソコン上のファイル名を変更しておくか、別のフォルダにコピーしてください。

● ［マイ ドキュメント］以外に保存する場合は、あらかじめ保存先のフォルダを表示させておきます。

Macintoshの場合

カード内のフォルダを直接開ける場合

Macintoshでは、カードがデスクトップ上に、「NO_NAME」「名称未設定」などの名前で現れます。（それ以外の名前になることもあります。）

●現れない場合は、パソコンを再起動してください。

1. デスクトップ上のカードアイコンをダブルクリックして開きます。

2. P.116の3～5の手順に従って、カード内のフォルダまたはファイルをパソコンにコピーします。

●［マイ ドキュメント］の代わりに、任意の保存先を選んでコピーしてください。

イメージキャプチャを利用する場合（Mac OS Xのみ）

Mac OS Xでは、左図のイメージキャプチャ（Image Capture）が起動することがあります。パソコンに画像を保存する場合は、ダウンロード先を選んで、［一部をダウンロード…］または［すべてをダウンロード］をクリックします。その後はメッセージに従って操作を進めてください。詳しくはパソコンメーカーにお問い合わせください。

接続を解除する

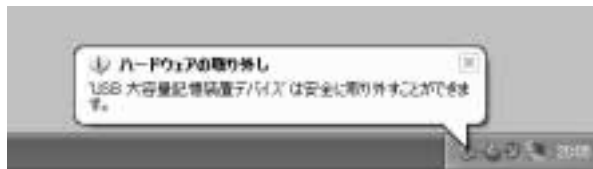
必要な画像をパソコンにコピーした後は、すみやかに以下の要領でUSB接続を解除されることをおすすめします。USB接続した状態でカメラ内のSDカードを交換する場合も、まず以下の操作を行なってください。

Windows XP、Me、2000の場合

お使いのWindows OSによって表示や文言が異なりますが、基本操作は同じです。

1. カメラのアクセスランプが点灯していないことを確認します。

2. タスクバー（パソコンの画面右下）に表示されている［ハードウェアの安全な取り外し］または［ハードウェアの取り外しまたは取り出し］のアイコンを左クリックします。

3. ［USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します（または停止します）］または［USBディスクの停止］を左クリックします。

4. 安全に取り外しできるというメッセージが現れたら、☒または［OK］をクリックします。

5. USBケーブルを取り外します。

6. カード交換時は、メインスイッチを押してカメラの電源を切ってからカードを交換します。

● 複数のUSB機器を接続している場合は、前ページの2で、アイコンの左クリックの代わりに、ダブルクリックまたは右クリックする方法が便利です。以下の手順に沿ってください。
1. ハードウェアの取り外し画面（右図）が現れたら、USBを選択して［停止］をクリックする。
2. ハードウェア デバイスの停止画面が現れたら、カメラを選択して［OK］をクリックする。
3. 安全に取り外しできるというメッセージが現れたら、［OK］または☒をクリックする。
4. USBケーブルを取り外す。

Windows 98または98 Second Editionの場合

1. カメラのアクセスランプが点灯していないことを確認します。

2. USBケーブルを取り外します。

3. カード交換時は、メインスイッチを押してカメラの電源を切ってからカードを交換します。

Macintoshの場合

Mac OS 9.xの場合

Mac OS Xの場合

1. カメラのアクセスランプが点灯していないことを確認します。

2. カードのアイコンをゴミ箱へ移します。

3. USBケーブルを取り外します。

4. カード交換時は、メインスイッチを押してカメラの電源を切ってからカードを交換します。

パソコンで画像ファイルを開ける

1.画像を保存したフォルダ（マイ ドキュメントなど）をダブルクリックして開けます。

2.見たい画像をダブルクリックします。

● 各ファイルに関連付けされたソフトウェアが自動的に起動します。起動しない場合や意図しないソフトウェアが起動した場合は、先にソフトウェアを起動させ、その後［ファイル］→［開く］を選んでください。

画像の表示・再生に必要なソフトウェア

このカメラで撮影した画像をパソコンで表示させるには、以下のソフトウェアが必要です。

JPEGファイル(静止画）の場合

最後に「.JPG」が付いているファイルで、一般的な画像表示ソフトで開くことができます。お持ちでない場合は、付属のディマージュビューアCD-ROM内の「DiMAGE Viewer」をインストールしてお使いください。→DiMAGE Viewer使用説明書参照

MOVファイル（動画）の場合

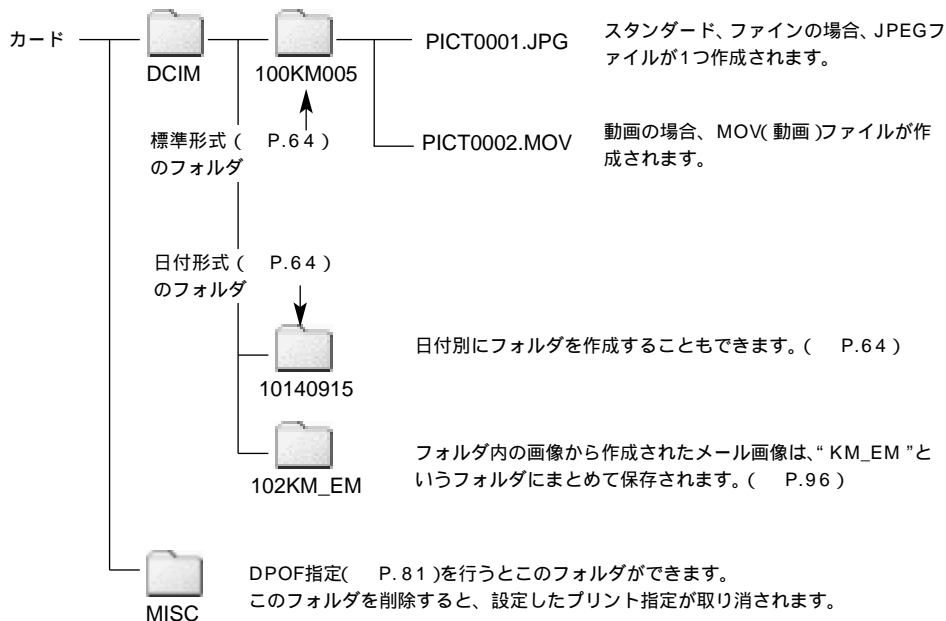
最後に「.MOV」が付いているファイルで、再生するにはQuickTime等の動画再生ソフトが必要です。お使いのWindowsパソコンにインストールされていない場合は、付属のディマージュビューアCD-ROM内のQuickTimeをインストールしてお使いください。→P.128

● DiMAGE Viewerで動画を見る場合も、先にQuickTimeをインストールしておく必要があります。

● Macintoshの場合通常QuickTimeはインストール済みですので、そのままで動画再生が可能です。

フォルダ構成とファイルの種類

ある画像を撮影すると、画像1つにつき1つのファイルが作成され、カード内のフォルダに入れられます。カード内のファイルとフォルダの構成は以下の通りです。

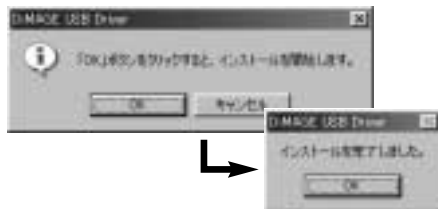
●以下は、カードの内容をパソコンで表示させたときのフォルダ構成です。

ドライバのインストール（Windows 98/98SEのみ）

Windows 98/98 Second Editionをお使いの場合、付属のディマージュビューアーCD-ROMから、パソコンにドライバをあらかじめインストールしておく必要があります。

1. ディマージュビューアーCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

● 左の画面が現れます。

2. ［USBデバイスドライバ インストーラの起動］をクリックします。

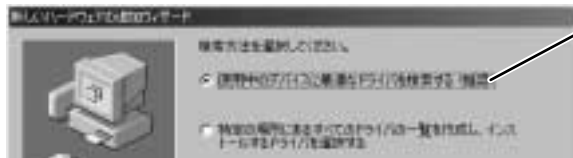
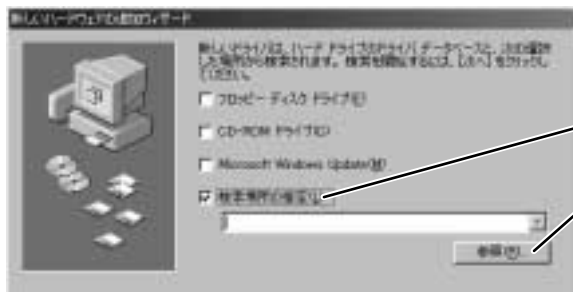
3. 画面の指示に従い、インストールを開始します。

● このカメラ（DiMAGE X21）のWindows 98/98SE用のドライバをインストールした後に、それ以前のDiMAGEシリーズデジタルカメラ用のWindows 98/98SE用ドライバをインストールすると、DiMAGE X21のUSB接続ができなくなることがあります（逆の順序でインストールすると問題ありません）。両方お持ちの場合は、DiMAGE X21のドライバをインストールするだけで、それ以前のカメラのUSB接続もできるようになります。

● お使いのパソコンの環境によっては、インストール中にWindowsシステムCD-ROMをセットするメッセージが表示されることがあります。この場合はディマージュビューアーCD-ROMをWindowsシステムCD-ROMに差し替え、メッセージに従って操作してください。

ドライバのインストールが完了すると、続いてカメラとパソコンを接続します。→P.112〜

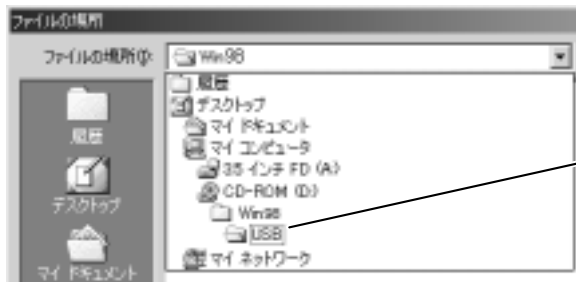
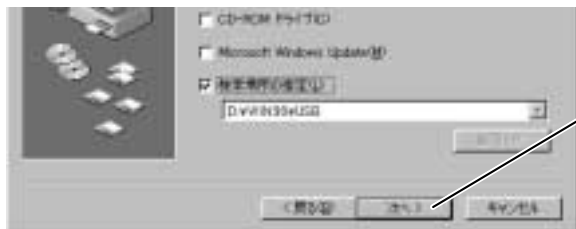
接続時に追加ウィザードが現れた場合

お使いのパソコンの環境によっては、P.122の要領でドライバをインストールして「インストールを完了しました。」のメッセージが表示されても、正しくインストールされていないことがあります。左の画面が表示された場合は、次の手順に沿ってください。

1. [次へ>] をクリックします。

2. [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ>] をクリックします。

3. DiMAGEビューアーCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

4. [検索場所の指定] を選択し、[参照] をクリックします。

次ページへ続く

ドライバのインストール（Windows 98/98SEのみ）（続き）

5.検索場所を、［CD-ROM］－［Win98］－［USB］の順に指定します。

6.［次へ>］をクリックします。

7.ドライバが検出されインストールの準備ができると、［次へ>］をクリックします。

8.インストールが完了すると、［完了］をクリックします。

● お使いのパソコンの環境によっては、インストール中にWindows®システムCD-ROMをセットするようメッセージが表示されることがあります。この場合は、DiMAGEビューアーCD-ROM を Windows®システムCD-ROMに差し替え、メッセージに従って操作してください。

USB接続ができないときは

Windowsをお使いの場合で、カメラをパソコンに接続してもリムーバブルディスクが現れなかった場合は、以下の方法でUSBドライバをいったん削除（アンインストール）し、その後再度接続してください。
弊社ホームページも合わせてご覧ください。

http://ca.konicaminolta.jp/support/faq/ts/ts001/index.html

1. カメラにカードを入れ、カメラとパソコンを接続します。→P.112

● パソコンにはカメラ以外の周辺機器を接続しないでください。

2. [マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] を選びます。

● Windows XPの場合は、[スタート] から [マイコンピュータ] を選び、右クリックすると [プロパティ] が現れます。
● Windows Me、2000、98、98SEの場合は、デスクトップ上の [マイコンピュータ] を右クリックすると [プロパティ] が現れます。

Windows XP

Windows Me、2000、98、98SE

USB接続できないときは

次ページへ続く

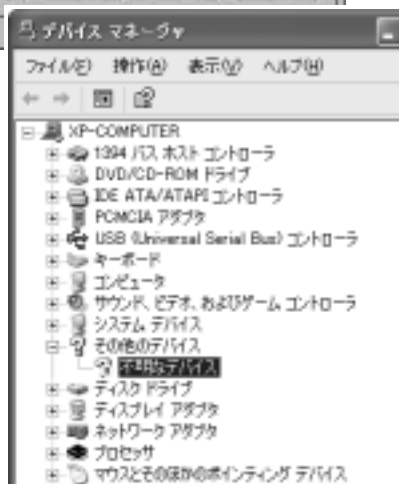
3.「システムのプロパティ」画面から、「デバイスマネージャ」を選びます。

- Windows XP、2000の場合は、「ハードウェア」タブをクリックし、中段の「デバイスマネージャ」をクリックします。
- Windows Me、98、98SEの場合は、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

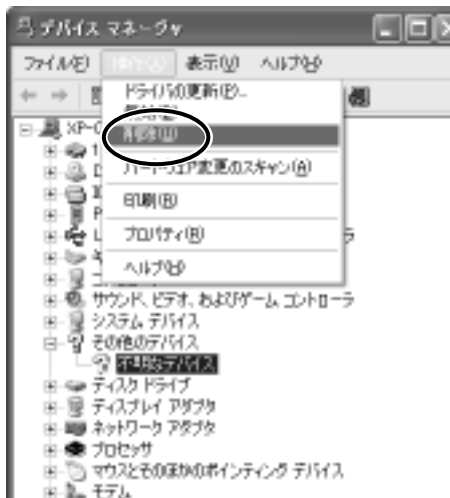
Windows XP、2000

Windows Me、98、98SE

4.「USBコントローラ」「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」「その他のデバイス」のいずれかにカメラ名称（DiMAGE）を含む項目が表示されますので、その項目を選びます。

- 項目の左側に「+」が表示されているときは、まず「+」をクリックしてください。
- カメラ名称を含む項目が見当たらない場合は、「？」または「！」マークで表示されている項目を選んでください。
- 該当する項目が見つからない場合は、P.112の要領でカメラが正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。

5.4で選んだ項目を削除します。

- Windows XP、2000の場合は、画面上部の「操作」から「削除」を選びます。
- Windows Me、98、98SEの場合は、「削除」をクリックします。

Windows XP、2000

Windows Me、98、98SE

6.削除の確認画面が現れるので、「OK」をクリックします。

7.カメラの電源を切り、パソコンを再起動します。

- Windows XP、2000、Meの場合は、この後P.112の要領で、再度USB接続を行ないます。
- Windows 98/98SEの場合は、この後ドライバをインストールし（P.122）、その後再度USB接続を行ないます（P.112）。

Quick Timeのインストールと使い方

動画の再生にはQuickTime等の動画再生ソフトが必要です。Windows®で、お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールしてください。

- Macintoshの場合、通常はQuickTimeはインストール済みですので、そのままで動画再生が可能です。

QuickTime 6動作環境

- Pentiumプロセッサを搭載したPC互換コンピュータ
- 128MB以上の実装メモリ（RAM）
- Windows XP / 2000 / Me / 98 オペレーティングシステム

インストール方法

1. DiMAGEビューアーCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

- 左の画面が現れます。

2. [QuickTime インストーラの起動] をクリックします。

3. 画面の指示に従い、インストール作業を行ないます。

- インストールの種類は「基本的なインストール」を選択してください。「最小限のインストール」だと、DiMAGE Viewerでの動画再生・補正時に一部機能が正常に動作しないことがあります。

操作方法

1. QuickTimeを起動させます。

- QuickTime Playerのアイコンをダブルクリックするか、画面左下の［スタート］から［プログラム（P）］→［QuickTime］→［QuickTime Player］を選択します。

2.［ファイル（F）］から［新規Playerでムービーを開く…（O）］を選択します。

3.再生したい動画を選択し、［開く］をクリックします。

4.動画ファイルを再生します。

操作方法について、詳しくはヘルプをご覧ください。

Adobe Photoshop Album Mini

付属のDiMAGEビューアーCD-ROMをWindowsパソコンに入れるとAdobe Photoshop Album Miniをインストールすることができます。[Adobe Photoshop Album Mini インストーラの起動]をクリックし、画面指示に従ってインストールしてください。

Adobe Photoshop Album Miniは、デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込み、手早く整理し、アルバムを作成したり、簡単な補正をしたりすることができます。

また、インターネットに接続することにより、弊社のオンラインラボサービスを利用して、撮影した画像のプリントを注文したり、オンラインアルバムへ画像を保管することができます。

弊社のオンラインラボホームページ （http://onlinelab.jp /）へアクセスすることで上記の他にも様々なサービスが楽しめます。WindowsでもMacintoshでもご利用になれます。

PCカメラドライバ

付属のDiMAGEビューアーCD-ROMをWindowsパソコンに入れると、[DiMAGE PC Camera ドライバインストーラの起動] が現れます（上図参照）が、DiMAGE X21ではこの機能は使用できません。

その他

メッセージ表示一覧

メッセージ	原因	対策	ﾍﾟｰｼﾞ
カードが入っていません	カードを入れてください。（カードなしでの撮影については → P.132）		20
カードがロックされています	SDメモリーカードが書き込み禁止になっている	書き込む場合は、カードのライトプロテクトスイッチを上げてください。	20
カードは使えません	カードをフォーマット（初期化）してください。それでも同じメッセージが出る場合は、カードを交換してください。		102
日付・時刻を設定して下さい	長時間電池を抜いたままにしておいたので、日時の設定が失われた	日時を再設定してください。（お買い上げ時にもこのメッセージが現れます。）	22 107
画像がありません	画像が記録されていないカードを入れて再生モードにした	画像が入っているカードを入れるか、先に撮影を行なってください。	—
	お気に入り再生で、お気に入り作成した画像がなかった	お気に入り画像を作成してください。	77
プロテクトされています	プロテクト（誤消去防止）をかけた画像を消去しようとしている	消去する場合は、先にプロテクトを解除してから消去してください。	75
カードに空きがありません	カードの容量がいっぱいになっている	画質を変えるか、不要な画像を消去するか、空き容量のあるカードに交換してください。	24
コマ指定がありません	消去で「コマを指定」を選んでコマを指定しなかった	どの画像を処理するかで「コマを指定」を選んだ場合は、コントローラーを上下に倒して対象となるコマを選んでください。	73

メッセージ	原因	対策	ﾍﾟｰｼﾞ
プリンタを確認してください	プリントする際に、用紙切れ等、プリンタ側で問題が起こっている	プリンタの問題を解決してください	89
表示できない画像です	他のデジタルカメラで撮影した画像などは表示できない場合があります。 また、撮影した画像をパソコンで加工すると（名称変更、画像回転等）表示できない場合があります。		－
作成できませんでした。	規定枚数以上にお気に入り画像を作成しようとした	お気に入り画像を消去してください。	78
	カードの空き容量以上の画像をメール画像作成しようとした	カード内の画像を消去してください。	73

カードなしでの撮影について

このカメラは、カードが入っていなくても、静止画の撮影、および、再生のデモンストレーションができます。

この場合、画像はカメラ内部のメモリに一時的に保存されますが、1コマ分の容量しかないので、撮影のたびに新しい画像に書き換えられます。したがって、再生で表示できるのは、一番最後に撮影された画像（連続撮影の場合は最後の画像）のみです。

また、画像は、カメラ内部のメモリに一時保存されているだけですので、カメラの電源を切ると消去されます。

あれ？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、次のことを調べてみてください。それでも調子が悪いときや分からないときは、裏表紙記載の弊社お客様フォトサポートセンターにお問い合わせください。

症状	原因	対策	ﾍﾟｰｼﾞ
撮影ができない	ＳＤメモリーカードが書き込み禁止になっている	撮影する場合は、ライトプロテクトスイッチを解除してください。	２０
撮影・再生ができない	電池が消耗している	充電した電池か新品電池を入れます。	１７
	オートパワーオフが作動した	（初期設定では）約3分間以上何も操作をしないでいると、自動的にカメラの電源がOFFになります。	１８
	カメラがパソコンに接続されている	パソコンに接続されている間は、撮影や再生はできません。	—
赤い００００が表示され、「カードに空きがありません」のメッセージが表れシャッターが切れない	カードがいっぱいである	画質を変更する、画像を消去する、カードを交換する、のいずれかを行なってください。	４６ ７３ ２０
液晶モニター右下に赤い●が点灯している	オートフォーカスの苦手な被写体（P.２８）を撮ろうとしている	被写体と同じ距離にあるピントの合わせやすいものにピントを合わせて、フォーカスロック撮影を行なってください。	２９
	被写体に近づき過ぎている	カメラより約１０㎝以上離れたものにしかピントが合いません。	２５
	レンズが汚れている	レンズ前面を清掃し、撮影時にはレンズ面に触れないようにしてください。	—

症状	原因	対策	ページ
液晶モニター右下に（手ブレマーク）が表示される	フラッシュ発光禁止や夜景ポートレート撮影のため、シャッター速度が遅くなっている	三脚を使って、カメラがぶれないようにして撮影してください。	—
フラッシュ撮影したものが全体的に暗い	フラッシュ光の届く範囲で撮影しなかった	フラッシュ撮影時は、フラッシュ光の届く範囲内で撮影してください。	30
写真がブレている	暗いところでフラッシュを使わずに撮影したので、手ブレを起こした	シャッター速度が遅くなるので、三脚を使用してください。フラッシュを使う方法もあります。	—
光源や光がにじんだり、きれいに再現されない	レンズが汚れている	レンズ前面を清掃し、撮影時にはレンズ面に触れないようにしてください。	—
パソコンがカメラ内のカードを認識しない	USBドライバのインストールに失敗した	一度アンインストールを行なった後、再接続（または再インストール）を行なってください。	125
	USB接続時のカメラ動作が「カードリーダー」以外になっている	セットアップメニューの「3」→「USB接続」で「カードリーダー」を選んでください。	108
カメラが正常に作動しない	カメラの電源を切って電池を一度取り出し、入れ直してください。ACアダプター等使用時は、一度コードを抜いてください。それでも直らない場合や何度も繰り返す場合は故障ですので、お買い求めの販売店または裏表紙記載の弊社お客様フォトサポートセンターにご相談ください。		—

アクセサリー（別売り）

ACアダプター　AC-12

屋内などAC電源が使える場合は、ACアダプター AC-12を使用すると、電池の残りを気にすることなく撮影ができて便利です。

その他

下記のようなケースやストラップもご用意しております。

・カメラケース CS-DG400
・カメラケース＆ストラップ CS-DG410
・メタルチェーンネックストラップ NS-DG100
・カメラケース CS-DG500
・本革ネックストラップ NS-DG400/NS-DG200
・ハンドストラップHS-DG130

この使用説明書裏面に記載のホームページで、詳しい情報についてご覧いただけます。

取り扱い上の注意

電池について

● 電池の性能は低温になるほど低下します。低温下では、新品電池を使う、予備の電池を保温しておいて交互に使う、などに留意してご使用ください。また、低温のために性能が低下した電池でも、常温に戻せば性能は回復します。
● ニッケル水素電池は低温での性能低下がアルカリ乾電池より少ないので、寒冷地ではニッケル水素電池の使用をおすすめします。
● いったん容量切れになった電池は必ず交換してください。容量切れ後、しばらく待って、わずかながら容量が回復した状態で再びカメラの電源を入れると、カメラが正常に作動しない場合があります。

ニッケル水素電池使用時の取り扱い上のご注意

● ニッケル水素電池の特性上、初めてお使いになるときや長期間放置後にお使いになるときは、最初は十分に充電が行われないことがあります。このような場合でも2、3回充電と使用を繰り返すと、本来の性能を発揮します。
● 電池の両電極を乾いた布でよく拭き、汚れを取り除いてからご使用ください。汚れたままだと接触が悪くなり、新品電池でも電池がすぐに使えなくなる場合があります。
● ニッケル水素電池には「メモリー効果」と呼ばれる現象があり、十分に使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電完了後の容量が徐々に少なくなります。電池容量がなくなるまで使い切った後、充電を行なうことをおすすめします。
● 電池は、2本を一緒に充電してください。また、このカメラで使用した電池はこのカメラを専用とされることをおすすめします。
● 充電時間がかなり短い場合は、充電が不十分なことがあります。再度充電を行なってください。
● 充電器に付属の取り扱い説明書も合わせてよくお読みください。

使用温度について

● このカメラの使用温度範囲は0～40℃です。
● 直射日光下の車内など極度の高温下や、湿度の高いところに放置しないでください。
● カメラに急激な温度変化を与えるとカメラ内部に水滴を生じる危険性があります。スキー場のような寒い屋外から暖かい室内に持ち込む場合は、寒い屋外でカメラをビニール袋などに入れ、袋の中の空気を絞り出して密閉します。その後室内に持ち込み、周囲の温度に充分なじませてからカメラを取り出してください。

SDメモリーカード・マルチメディアカードについて

● 下記の場合、記録されたデータが消去(破壊)されることがあります。データの消去については当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。大切なデータは、別のメディア(ハードディスク等)にバックアップを取っておくことをおすすめします。
  1. お客様または第三者がカードの使い方を誤ったとき
  2. カードが静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  3. カードへのアクセス中(記録中、フォーマット中など)に、カードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
  4. カードの耐用回数を超えて書き換えを行ったとき
● カードをフォーマット(初期化)すると、記録されているデータはすべて消去されます。必要なデータは必ずバックアップを取ってください。
● カードには寿命がありますので、長期間ご使用になるとデータの記録や再生ができなくなる場合があります。このときは新しいカードをお買い求めください。
● 強い静電気や電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください
● 曲げたり落としたり、強い衝撃や高熱を与えないでください。
● 強い静電気や強い衝撃によってカードが破壊され、データの記録や再生ができなくなる場合があります。このときは新しいカードをお買い求めください。
● 端子部に手や金属で触れないでください。
● 熱、水分、直射日光を避けて使用および保管してください。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の白や黒、赤などの点が現れることがあります。これは故障や異常ではありませんのでご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒いところで使うと、始めは画面が通常より少し暗くなります。カメラ本体内部の温度が上がってくると、通常の明るさになります。
- 液晶モニターに指紋等が付着して汚れたときは、乾いた柔らかい布で、傷などがつかないよう軽くふいてください。

その他

- カメラに強い衝撃を与えないでください。
- バッグなどに入れて持ち運ぶときは、カメラの電源を切ってください。
- このカメラは防水設計にはなっていません。濡れた手で電池やカードの出し入れや、カメラの操作をしないでください。また湿度の高いところに長時間放置しないでください。
  海辺等で使用されるときは、水や砂がかからないよう特に注意してください。水、砂、ホコリ、塩分等がカメラに残っていると、故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影したり、直射日光の当たる場所に放置しないでください。CCD（撮像素子）の性能を損なうことがあります。
- あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合があります。なお、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する場合以外はご利用いただけません。

手入れと保管のしかた

手入れのしかた

- カメラの外側を清掃するときは、柔らかいきれいな乾いた布で軽くふいてください。砂がついたときは、こするとカメラに傷をつけますので、ブロアーで軽く吹き飛ばしてください。
- レンズ面を清掃するときは、ブロアブラシでホコリ等を取り除いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、レンズの中央から円を描くように軽くふいてください。レンズクリーナーを直接レンズ面にかけることはお避けください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含むクリーナーは絶対に使用しないでください。
- レンズ面に直接指で触れないでください。

保管のしかた

- 涼しく、乾燥していて、風通しのよい、ホコリや化学薬品のないところに保管してください。長期間の保存には、密閉した容器に乾燥剤と一緒にいれるとより安全です。
- 長期間使用しないときは、カメラから電池やカードを取り出してください。
- 防虫剤の入ったタンスなどに保管しないでください。
- 保管中も時々電源を入れて、カメラを作動させてください。また、ご使用前には整備点検されることをおすすめします。

海外旅行や結婚式など大切な撮影のときは

- 前もって作動の確認、またはテスト撮影をしてからご使用ください。また予備の電池を携帯することをおすすめします。
- 万一このカメラを使用中に、撮影できなかったり、不具合が生じた場合の補償についてはご容赦ください。

アフターサービスについて

- 本製品の補修用性能部品は、生産終了後5年間を目安に保有していますが、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 製品の修理に関しては、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせいただくか、修理依頼品を「アフターサービスのご案内」に記載の弊社アフターサービス窓口にお持ち込みください。

主な性能

有効画素数	約200万画素
撮像素子	1/3.2型総画素数210万画素インターラインCCD、原色フィルター付き
撮像感度	AUTO（ISO 50〜200相当）
レンズ構成	9群10枚
焦点距離	4.8〜14.4㎜（35㎜フィルム換算：37〜111㎜相当）
開放絞り値	F2.8〜F3.7
撮影距離	0.10m〜∞（カメラ前面から）
最大撮影倍率	0.1（35㎜フィルム換算で0.86倍相当）
ズーム方式	電動ズーム
フォーカス方式	映像AF方式
フォーカスエリア	中央AF
ホワイトバランス	オート、昼光、曇天、白熱灯、蛍光灯
測光方式	256分割測光
シャッター	CCD電子シャッターと電子制御メカニカルシャッター併用 シャッター速度：4〜1/500秒
露出制御方式	プログラムAE
露出補正	±2EV（1/3EVステップ）
フラッシュ制御方式	プリ発光による発光量制御
フラッシュモード	自動発光/赤目軽減自動発光/強制発光/発光禁止/夜景ポートレート（赤目軽減）
フラッシュ連動距離	広角：約0.2〜3.6m、望遠：約0.2〜2.7m（カメラ前面から） (撮像感度AUTO)
記録媒体	SDメモリーカード、マルチメディアカード
記録画像ファイルフォーマット	JPEG、Motion JPEG（MOV） DCF 1.0準拠 DPOF（Ver. 1.1）のプリント機能に対応、Exif 2.2
記録フォルダー形式	標準形式、日付形式

次ページへ続く

主な性能（続き）

PRINT Image Matching II	対応
Exif Print	対応
記録画素数 /画質モード（静止画）	1600×1200ファイン、1600×1200スタンダード、1280×960スタンダード、640×480スタンダード
記録画素数（動画）	320×240、160×120
カラーモード	カラー、モノクロ、セピア、ポスタリゼーション、ソフトフォーカス
ノイズリダクション	自動
Exif. Tag情報	撮影年月日時分、シャッター速度、絞り値、露出補正値、測光方式、フラッシュ発光の有無、撮像感度、ホワイトバランス、焦点距離、光源、デジタルズーム倍率、35mm換算焦点距離、カラーモード、Exifバージョン etc.
消去機能	あり（1コマ/全コマ/コマを指定）
誤消去防止機能	あり（1コマ/全コマ/コマを指定）
フォーマット機能	あり
日付写し込み機能	年月日/月日時刻/なし
液晶モニター	3.8㎝（1.5インチ）TFTカラー モニター画素数：約76000画素 視野率：約100%
表示内容	撮影時：ライブビュー、各種状態表示 再生時：再生画像（1コマ/インデックス6コマ/動画）、各種状態表示 拡大再生可能：最大6.0倍
連続撮影	約1.2コマ/秒（撮影条件による）
セルフタイマー	約10秒
セルフポートレート撮影	可能
マルチフレームショット	あり
ポートレート	あり
動画	ファイル形式：Motion JPEG（MOV）　画素数：320×240、160×120　フレームレート：15フレーム/秒　録画時間：無制限（カードの容量、電池寿命に依存）　音声なし
デジタルズーム	最大4倍

操作音	各操作時、起動時、電源OFF時
AF音	ピントがあった時
シャッター音	レリーズ時
メール画像作成機能	あり（640×480、160×120）
画像回転	あり
コントローラーカスタマイズ	あり
お気に入り画像作成	あり
スライドショー	あり
合成撮影	フレーム合成（4種類）、カップリングショット
使用電池	単3形　2本（アルカリ乾電池、ニッケル水素（Ni-MH）電池）
外部電源	DC 3V（ACアダプターAC-12使用時）
連続動作時間	連続再生：約80分（アルカリ乾電池使用時）当社試験条件による。 約170分（2100mAhニッケル水素電池使用時）当社試験条件による。
撮影可能コマ数	約90コマ　CIPA*準拠。（電池・メモリーカードは付属品を使用。） 約230コマ　CIPA*準拠。（2100mAhニッケル水素電池使用。メモリーカードは付属品を使用。）
PCインターフェース	USB USB2.0対応機器に接続した場合、Full speed（12Mbps）の転送速度となる
対応OS	WindowsXP(Home,Professional)/Me/2000 Professional/98 Second Edition/98 Mac OS 9.0～9.2.2、Mac OS X 10.1.3～10.1.5/10.2.1～10.2.8/10.3～10.3.1
PictBridge	対応
大きさ（幅）X（高さ）X（奥行き）	86×67×24.5（液晶部以外は21.5）㎜
質量（重さ）	約115㌘（電池、記録メディア別）

*CIPA:　カメラ映像機器工業会

本書に記載の性能は当社試験条件によります。
本書に記載の性能および外観は、都合により予告なく変更することがあります。

索引

索引

次ページへ続く

は

ま

や

ら

コニカミノルタ フォトイメージング株式会社

ホームページ

製品の互換性情報や最新版ドライバソフトウェアの提供、よくある質問(FAQ)とその回答などのサポート情報については、弊社カメラ統合ポータルサイトをご覧ください。

http://ca.konicaminolta.jp/

弊社DiMAGEシリーズデジタルカメラの商品情報については、以下のホームページをご覧ください。

http://konicaminolta.jp/dimage/

お客様フォトサポートセンター

弊社製品のデジタルカメラ、フィルムスキャナ、カメラ、交換レンズ、露出計などの機能、使い方、撮影方法などのお問い合わせをお受けいたします。

ナビダイヤル　0570-007111

ナビダイヤルは、お客様が日本全国どこからかけても市内通話料金で通話していただけるシステムです。

TEL　06-6532-6205

携帯電話・PHS等をご使用の場合はこちらをご利用ください。

FAX　06-6532-6252

受付時間　10：00 ～18：00 (日・祝日定休)

9223-2730-61　C404

DiMAGE X21 使用説明書